指宿文化遺產図鑑【第3巻】





平成28年度文化庁文化芸術振興費補助金 (文化遺産を活かした地域活性化事業)

# 郷土芸能

チョイノチョイ (小牧地区) 6
小牧四ッ竹踊り (小牧地区)12
岩本棒踊り(岩本地区)18
福元棒踊り(山川福元区)24
山川漁り節(山川福元区)30
井手方棒踊り(山川成川区井手方集落)36
成川そば切り踊り (山川成川区)42
川尻棒踊り・鎌踊り (開聞川尻区)50
開聞龍宮太鼓(開聞地区)56
入野物袋琉球人踊り(開聞入野・物袋集落) …62
新西方棒踊り(新西方地区)68
士官節(新西方地区細田西集落) … 74
中川ごちょう踊り(西方中川集落)80
相撲甚句(西方下吹越集落)88
大山棒踊り(山川大山区)96
大山琉球人傘踊り(山川大山区) 102
小川区棒踊り (山川小川区) 108

#### 伝統 行事

亥の日の石突き(十二町片野田集落)	114
イシナト (西方尾掛集落)	120
ダセチッ (山川利永区)	126
メンドン (山川利永区)	130
十五夜綱引き(山川大山区)	134
成川南方神社神舞(山川成川区)	140

#### ☞動画で見てみよう!

踊りや行事の様子を動画でご覧になれます。 https://www.youtube.com/channel/ UCX56Ziyy8WiSVcvuk3\_RB8w



# 有 形文化財

湊川橋 1	62
松尾城跡	62
鳥越堀切・決湖碑 1	62
菅山の方柱板碑(仮屋) … 1	63
方柱四方梵字 1	63
木造聖観音立像三体	63
長勝院址石造物(快伝銘五輪塔·方柱板碑· 石造如来形坐像) · · · · · · 1	163
吉永のモイヤマ	64
松原田観音寺跡石塔群 1	64
入野原石塔群	64
上仙田東屋敷供養塔群 1	64
宮ヶ浜商家群(中俣家住宅主屋・坂本家住宅主屋 蜷川菓子店店舗兼主屋・丸十金物百貨店店舗・ 丸十金物百貨店蔵)	65
	65
震洋の滑走台・・・・・・ 1	65
指宿海軍航空基地跡·魚見岳旧海軍貯水場 1	66
魚見岳麓防空壕	66
田良岬の戦闘機残骸 1	66
摺ヶ浜の水際陣地 1	66
縄状玄武岩 1	66
指宿橋牟礼川遺跡1	67

## 指宿まるごと博物館 文化財マップ

#### 凡 例

- 🛂 史跡
- □ 城跡•館跡
- ★ 伝統的建築物
- 🚆 田の神
- 易 仏像ほか
- ⋒ 庚申塔
- ▲ 墓地
- 巨木・珍しい木
- 🚄 火山地形
- 🟋 民俗芸能 ■伝統行事
- 🔋 板碑•供養塔
- 🧗 その他

#### 国指定文化財等

県指定文化財等

市指定文化財等

一般文化財等











## **、 見どころ //**\*

チョイノチョイは、2人1組で、腰 を低くして「チョイノチョイ」と声を かけ合いながら勇敢に踊るところ を見てください!



保存会によると、島津氏第 17代当主の島津義弘が、天正 20年(1592)からの文禄の役 と、慶長2年(1597)年からの 慶長の役に参戦した際、無事

に凱旋した祝いとして踊られたと言われて いる。

また、昭和3年頃、前之浜地区の踊りを 習って踊ったとも言われている。





「チョイノチョイ」は、腰を低く してひざとももを高く上げたり、 扇と刀を持つ両手を高く上げた り、また、両手を広げながら回る

所作が特徴的である。

特に、弓を引く姿はとても勇ましい。





小牧チョイノチョイ踊り保存会は、指宿市北部に位置する小牧地区に在住している 青壮年部や児童を中心に活動している。毎年、9月の敬老会披露に向けて、低学年の児 童は、先輩の児童や指導者の大人達から手ほどきをしてもらいながら踊り方を覚えて いく。練習会場ともなる小牧営農研修センターでは、大きな元気な声で発する「チョイノ チョイ!」のかけ声が響いている。演者は、2人1組で踊り、10組前後の踊りが望ましいと のことだが、少子化のため本番では指導者の大人も含めて踊られている。

#### \* 練習風景を 3 見てみよう







練習は、小牧営農研修センターで行われる。練習のはじまりは、しこと大きな発声練習からだ。指導者が、低学年の児童に手ほどきをしながら継承されている。

#### 必要な道具や衣装は?





#### 7 手單

8 白定袋 ※昔は、草履があったが10 年前から使わなくなった

【道具】

9 扇子

扇子の2・3本目の骨を抜き、手で握りやすいように

してある 10 刀

11 太鼓

12 バチ 【化粧】 鼻筋に白色の

鼻筋に白色の 線を一本入れる



#### 1 鉢巻

「つの」と呼ばれ厚紙を両端にはさむ

- 2 着物
- 3 絣の着物
- 4 腰細

2本使う

#### 5 帯

左側の踊り手は赤色,右側 の踊り手は黄色の面を表に 向けて巻く

#### 6 前かくし

色鮮やかな絵柄が描かれて いる







3

Ŧ

 $\exists$ 

 $\bigcirc$ 

唄

#### マテップ **4** さあ、いよいよ本番! 一緒に楽しみましょう!



前踊り

前後2列で踊られる。2人1組で、左側は赤色の帯を、右側は黄色の 帯をつける。









- ①右手は腰に、右足を上げながら右側を向き、次に左手を伸ばしながら左側を払う。 右手を伸ばしながら正面を向く。これを2回繰り返す。
- ②背面を向き、両手を広げ、「チョイノチョイ」とかけ声をかけて肩で切り込む。
- ③右足を上げて正面で片ひざをつき、右手 の扇を足先から肩の高さまで上げて、扇 を広げる。
- ④立ち上がり、両手を上げ、正面で弓を引く 所作をする。
- ①~④の基本的な所作を繰り返しながら踊られる。

本踊り

前踊りと同じ前後2列で踊られられる。 左右の人と刀と扇を合わせるシーンが特徴的である。



















- ①前踊りと本踊り(2回)を踊る前に、それぞれ踊りの前に唄われる唄に合わせて、踊り手が両手を上に上げ扇を広げながら「ヒュー」と大きな掛け声を発する。その後、本踊りが踊られる。
- ②~④前踊りの①~④と同じ所作が踊られる。
- ⑤帯が赤色と黄色をした左右の人同士で向かい合い、モモを高く上げて回転しながら、刀と扇をあわせる。
- ⑥⑤の所作を続けながら半時計周りをし、左右入れ替わる。
- ⑦赤色の帯の人が刀を弓に見立てて矢を射る所作をし、黄色の帯の人が扇で受け止める。
- ⑧⑦の所作を入れ替わる。
- ⑨左手の扇を広げ、額につける。これらの所作は繰り返して踊られる。



が、本踊り二回目の前唄 東小窓は、切るまいものよ

物の見事は、吉田の本城が、本踊り一回目の前唄はよて寝れば、月が冴え込

これのお庭は、南天竺よ前踊りの前唄

# ステップ

#### どこに行けば見られるの?

◎練習:場所/小牧営農研修センター9月の敬老会披露に向けて、小学生に指導(8月)

◎本 番:敬老会/小牧営農研修センター(9月)



(10

# 小牧四ッ竹踊り 小牧四ッ竹踊り保存会



手さばき、足さばきにメリハリのある 優雅な踊り





「丹波」で、場つくりの踊りで入場する ところです。

「四ッ竹」では、両手に持った四ッ竹を 鳴らしながら、左右にこっけいに動き回 るところです。

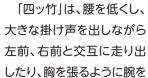


保存会によると、以前踊ら れていた「四ッ竹」踊りを、西 森ヨシさん(故人)を中心に、 10数年前に復活させた。









後方へ伸ばしたりする。まさに、全身運動 の踊りである。



あっちゃめ そらそら

# ステップ

#### 踊り手は?

保存会・竹踊り



小牧四ッ竹踊り保存会は、指宿市北部に位置する小牧地区の在住している青壮年部 の方々を中心に活動している。

小牧で生まれた育った人、大人になってから小牧へ転入した人など、16名の人々が継承している。





練習は、小牧営農研修センターで夜に行われる。

練習は、和やかな雰囲気で楽しく行われ、腕や足の上げ方など細かな所作もみんなで確認される。

激しい踊りの練習も笑いながらだと疲れを忘れるらしい。









- 1 鉢巻
- 2 白色の下着(股引)
- 3 絣の着物
- 4 たすき
- 5 腰紐

2本使う

6 帯

裏表の色が赤色と黄色 に染められた帯

#### 7 前かくし

色鮮やかな絵柄が描か れている

- 8 手單
- 9 白足袋

※昔は、草履があったが10年前から使わなくなった



【道具】

#### 10 血ッ竹

2個で1組。左右の手に 1組ずつ合計4個持つ 2つの穴には、指にはめ やすいように白い輪ゴ ムがつけられている

**14** 

## さあ、いよいよ本番! -緒に楽しみましょう!

「丹波」は「四ッ竹踊り」の場つくりの踊り。 踊りながら1列から2列縦隊を作る。

丹波









「丹波」は、手に何も持たずに「手踊り」のようにして踊られる。 片手、片足を上げる場合は、必ず上げた指先を見つめる。

腰を下ろし、両手に持った四ッ竹を曲と唄に合わせて鳴らしながら 踊られる。



















- ①腰を下げ、左足を前に出しながら四ッ竹を鳴らす。
- ②右足を出し四ッ竹を鳴らす。出した足はつま先立ち。
- ③左足を左後方へ下げ四ッ竹を鳴らす。その後右側でも繰り返す
- ④左足から3歩走り出すように踏み出し、四ッ竹を鳴らす。その際、「あっちゃめ そらそら」と発する。
- ⑤④の動きを右側でも繰り返す。その際、「こっちゃめ そらそら」と発する。
- ⑥正面を向き、四ッ竹を持つ両腕を肩の高さに上げる。
- ⑦右足を踏み出しながら上半身を前に倒し、右腕を足先へ。その動きを左・右と繰り返す。
- ⑧「良か良か~」で胸を張るように右足を後方へ下げ、右腕を上げ「さいさい」で四ッ竹を鳴らす。
- ⑨「押さげて~」で胸を張るように左足を後方へ下げ、左腕を上げ「ずいずい」で四ッ竹を鳴らす。

お~おさえて ある スセ

五

のの

立ち寄

聞 ばな

ス

けるか

、スセ

十三四

んのこ

んの

橋から落ちる のんのこ

五

0

 $\mathcal{O}$ 

波の

1)

 $\bigcirc$ 唄

の娘

スセ

あの

のんのこ

さい

#### どこに行けば見られるの?

習:場所/小牧営農研修センター 9月の敬老会披露に向けて、練習が行われ る。

番: 敬老会/小牧営農研修センター(9月)







岩本棒踊りでは2種類の棒が使用されます。三尺棒同士が打ち合う場面や六尺棒に持ち替える場面、棒同士を払いのける場面など激しくペースが早い踊りが特徴です。少し間違えると危ない部分もありますが、その激しさゆえに見る人を魅了します。





江戸時代、第21代島津家当主島津吉貴の子である因旛三郎忠郷は体が弱く、療養するために錦江湾を回っていた。忠郷は今和泉を気に入り、島津家の分家領地としてもらい住み、日常の雑事などは漁民・商人ではなく農民を登用した。そのため農民達からの敬愛の念は厚かった。農民達が病弱な領主を慰めるために棒踊りを踊ったことが岩本棒踊りの由来とされており、現代まで踊り伝えられている。



るでという。

保存会代表 迫田 登さん 現在、岩本棒踊り保存会の代表を勤めている迫田登さん。唄い手も務めている。

岩本棒踊りの特徴でもある力強い棒の打ち合いやダイナミックな動きに地域全体がほこりを持っているそうだ。

#### 踊り手は?

岩本棒踊り保存会



岩本棒踊りは岩本棒踊り保存会の12人と岩本地区の小中学生によって踊られる。今 和泉小学校の生徒は3年に一度、岩本棒踊りの講習を受けており、学校ぐるみで踊りが 継承されている。



練習は今和泉校区公民館で行われる。大人と子 どもが交わりながら練習し、世代を越えて踊りが伝 えられている。











#### 【衣装】

1 兜飾り

2 鉢巻

3 着物

4 たすき

5 だて帯

6 だて帯を締める紐 6 太鼓

7 前掛け

8 脚絆

9 手單

10 定袋

11 ワラジ



1 三尺棒(子ども用)

2 六尺棒(子ども用)

3 六尺棒

4 二尺五寸木刀

5 三尺木刀

7 バチ







岩本棒踊り

ステップ

) さあ、いよいよ本番 -緒に楽しみましょう!







太鼓の合図で旗持ちを先頭に2列になり入場し、6人1組で整列する。「一同、礼」の掛 声とともに棒を後方に高く上げ、正面に振り下ろす。各組中央の踊り手が六尺棒をもち、 歌い手が歌い出すと踊り開始。









岩本棒踊りは3番構成である。1番と2番は各組中央の踊り手が六尺棒を持ち、両隣の踊り手が力強く打ち込んできた棒を払いのける。

3番では六尺棒を三尺棒に持ち替えて踊り再開。歌が始まると片ひざを着いて、天を仰ぐような所作をする。3番の特徴は、各組の前列と後列が入れ替わる際に足をあげながら棒を交差させる場面や、各組の中央を向き、首をかしげる所作などがあげられる。また、各組中央の踊り手が両隣・前後の踊り手の打ち合いにもぐりこむなど、ダイナミックな動きが独特である。

# ステップ

#### どこに行けば見られるの?

◎練 習:7月から8月にかけて主に日曜日に

行われる

◎本 番:今和泉校区運動会(9月第1日曜日)

今和泉小学校の運動会(10月第1日曜日)







## ☆見どころ //\*

1番目から3番目まで踊りが格 段に速くなります。そのスピード感 と棒さばきに注目してください!



はまった。エピソード

この棒踊りは、明治時代から山川福元区で踊られていた郷土芸能であり、一説では、港町であった山川に琉球から伝わったと言われている。一時途絶えていたが、平成6年度にむらづくり運動の一環として「やまがわ豊祭」を復活させた際に豊祭につきものであった棒踊りも復活された。以後、毎年9月の敬老会、11月のやまがわ豊祭で披露されている。

また、保存会は、年8回山川小学校の3年生から6年生までの児童に、棒踊りの由来や取組みの現状等についての講話と、踊りの指導をする伝承活動を行っており、後継者育成にも力を入れている。

小学生は、学校の運動会、福元区敬老会、町区敬老会、 山川みなと祭り等で、棒踊りを披露し、地域の人たちから 喜ばれている。





<sub>保存会会長</sub> 福里 宏美さん 保存会会長の福里宏美さんによると、「青年時代は、150人の中から、選ばれた60人しか踊れなかったので、必死になって練習していた。今は、若者にどうにかして保存会に入ってくださいとお願いしている状況だが、踊り自体は変わらず踊り手は、昔も今も福元区を盛り上げるために頑張って踊っている。」とのことである。

#### 踊り手は?

福元棒踊り保存会



平成7年に結成された「福元棒踊り保存会」は、現在大人45人、中学生6人の51人が、 所属している。結成以来、後継者育成と子どもたちに地元の郷土芸能を知ってもらうた めに、山川小学校に出向いて伝承活動を行っている。会員の年齢層は幅広く、親子で練 習に取り組む会員もいる。









大人の練習は、敬老会、やまがわ豊祭等の本番

に向けて福元公民館の庭で行われる。小学生の練習は、6月から9月にかけて授業時間 を使って行われ、3年生から6年生の児童だけではなく、担任の先生たちも一緒に練習に 参加して踊りを覚えている。

#### 必要な道具や衣装は?





3 たすき

白地に黒文字で福 黄、赤、緑の3色 元棒踊り保存会と 4 帯

5 美單

6 前掛け

7 脚絆 8 定袋

9 わらじ

10 股引

7 脚絆

8 靴

【大人用道具】

11 三尺棒

12 六尺棒

13 纏

11



【子ども用衣装】

【大人用衣装】

書いてある

1 鉢巻

2 はっぴ

3 たすき

黄、赤、緑の3色

4 帯



【子ども用道具】

9 三尺棒

10 六尺棒

5 半ズボン

#### ステップ 4

## さあ、いよいよ本番! -緒に楽しみましょう!











纏に合わせて大股で入場。前後の踊り手同士下で1回、上で1回打ち合う。6人が列の中央で棒を打ち合った後、三尺棒の4人は片膝をつき、 六尺棒の2人は入れ替わる。



六尺棒の2人は、片膝をつき三尺棒の4人の棒を上で受ける。横に並んだ3人は両脇の人が中心の人の棒を打ち、後ろの者は片膝をつき、前の者の棒を受ける。次に前の者が片膝をつき、後ろの者の棒を受ける。







前3人は、前に向かって、後33人は、後3に向かって棒を打ち合った後、六尺棒の2人は位置を入れ替わる。

以上の動作を1番につき2回繰り返す。唄の速さは、1番より2番、2番より3番が速くなる。



退場:嫁女が通る 寄て慰む 二番.焼野のキジは 岡の背に住む 二番.焼野のキジは 岡の背に住む こがね)花咲く



#### どこに行けば見られるの?

◎練 習: 福元公民館で、敬老会や、やまがわ豊祭、祝い事などの出演に向けた練習が行われる。

○本 番: 敬老会/福元公民館(9月) やまがわ豊祭/福元公民館(11月)







## ☆見どころ //\*

漁船が大漁を願い漁場を目指していく姿や、威勢よく網を投げる漁師の様子、鰹節を製造する際の鰹を切る所作などを、踊りで表現しています。それらの場面を想像しながら、じつくりとご覧ください。



不漁の際に祭事を行い、大漁を祈願して「漁り節」を唄いはやしたという「沖得祭」の故事に由来している。山川漁り節はこの「漁り節」を再編した

もので、昭和43年の明治100年記念式典に歌と踊りが披露された。

以来、福元区天神下婦人会では、作詞·作曲と振付を手がけた竹原喬之助(原口源治)氏の弟子らに教えを受け、地元の祭りや敬老会で披露している。





作詞・作曲を手がけた竹原 喬之助氏は、歌詞にも出てく る「番所丘」に当時あった宿 泊施設に泊りこみ、そこから

見える山川港や港町の様子、鰹節製造の様子をつぶさに観察し、歌詞や振付に反映させたという。

「『魚が見える〜出港・漁に出る〜大漁〜魚をさばく(頭を切る)』という 振付の意味をきちんと理解して、踊りにメリハリをつけて踊るのが難 しいですね。」そう話すのは、福元区天神下婦人会の踊りの責任者を 務める西広美さん。娘の美咲さんとともに踊りの伝承に励んでいる。

福元区天神下婦人会西広美さん



#### 踊り手は?

# 福元区天神下婦人会



現在、天神下婦人会は12人のメンバーで活動している。踊りは輪踊りのため、参加す る人数によって輪の大きさを変えて披露することができる。

この他、踊りにアレンジを加えた形で、地元の山川小学校や山川伝承会、福元寿会、 成川長寿会などの団体でも踊り伝えられている。

#### 練習風景を 見てみよう

練習は、福元公民館で行 事の開催前に集中して行わ れる。振付等を手がけた竹 原氏の弟子(篠原郁代さん) 等が指導にあたる。



#### 必要な道具や衣装は?





波の模様とあわせて、市の魚「カツオ」と 市の蝶「ツマベニチョウ」が描かれている

- 2 帯
- 3 おけさ笠
- 4 足袋









山

川漁り節

山

川大漁節)

# さあ、いよいよ本番! -緒に楽しみましょう!

着物とおけさ笠を身につけ、支度完了!







①入場 舞台上手奥から、漁り 節の音楽に合わせて、1列で 踊りながら登場。



②中央で円になり、反時計廻り に踊る。円の大きさは参加す る人数によってさまざま。



③舞台上手奥へ、1列に踊りな がら退場。





櫓拍子揃えて

-梶を取る

(コラシ

つまの富士は

(コラショ (コラ

(コラシ

川を見れば

白帆

(コラシ

(コラシ 立た つ

五人番(コラシ

鰹を切る様子

ンコで遊び

(コラショ)

-酒をのむ

(コラショ

大漁唄(コラショ



漁場を目指す船を表現している

# どこに行けば見られるの?

◎練 習:福元公民館で、祭りや敬老会などの出演に 向けた練習が行われる。

◎本 番:山川みなと祭り/山川港水揚げ場(6月) 福元菅原神社六月灯/菅原神社(7月25日) 敬老会/福元公民館(9月) 福元豊祭り/福元公民館(11月)







## ☆見どころ //\*

他の地域では見られないナギナタ と鎌だけを用いた棒踊りです。

その所作も非常に独特で、ナギナタと鎌をカチ合わせる動きや、太ももを上げたり、腕を曲げたりしながらの踊りに魅了されます。



由来・エピソード

保存会によると、井手方の棒踊りの開始時期は詳らではないが、明治時代に集落内に三度大きな火事があり、火事による災害予防の祈願と、地域住民と家畜の無病息災を祈念して、アッカドンと馬頭

観音に奉納するようになったと言われている。

また、「防火のために棒踊りを奉納すればよい」と旧金峰町(現南さつま市)の平木佐次郎からお教わり、踊るようになったとも言われている。さらに、「昔、田布施の堀木いちじろうと云う人が井手方の若者達に伝授した。」とも言われている(『鹿児島県の民俗調査』)。いわば、「火伏せ」の踊りである。





るでくる。

指宿市内の棒踊りの中で、最も踊り手同士が接近して踊られる。特に、 踊りの後半では、足が前後交差しな

がら踊られるため、ナギナタと鎌の打ち合いがより一層激しく見られる。

棒踊りの本番は、まず、①集落センター内の「アッカドン」の前で披露する。②馬頭観音前で、その後本番の会場で踊られる。そして、③集落センターに戻ると踊り締めとして前庭で踊られる。よって、踊り手は4ヶ所で踊ることになる。

若い世代の人々が、 次の世代へとつなげてくれればと思う

> <sup>保存会会長</sup> 川口 武義さん

#### 踊り手は?

井手方棒踊



井手方棒踊り保存会は、指宿市山川成川の井手方 集落の住民を中心に活動している。かつては、青年が 踊っていたが、現在は集落の男性によって踊られてい る。

平成2年2月23~25日には、東京銀座ナイトふるさ とフェアーで披露した実績等もある。



旧山川小学校のリュウガン前での 披露記念写真(昭和30年頃)







練習は、井手方集落センターで行われる。 練習は、ナギナタと鎌を持つ踊り手が接近し ているため、ケガをしないように真剣に細心の 注意を払いながら行われる。

#### 必要な道具や衣装は?







【道具】



13 鎌



竹製の鉾の付柄にカンナ くず(下半分は赤色ら彩 色)で毛槍のようにする



ナギナタを持つ踊り手(左側) 鎌を持つ踊り手(右手)



- 1 鉢巻
- 2 ゆかた
- 3 たすき

赤色・黄色・青色の3色



赤色はナギナタ持ち、黄色は鎌持ち

- 5 帯留め納
- 6 ゆかた用の留め紐
- 7 手單
- 8 前かけ
- 9 白定袋
- 10 ワラ草履
- 11 はっぴ 踊り手以外の

者が着る



たすきの結び方



ナギナタを持つ踊り手(左側)・鎌を持つ踊り手(右手)

井手方棒踊り

井手方棒踊

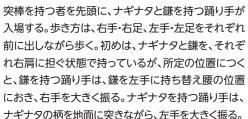
1)

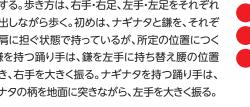
 $\bigcirc$ 

## さあ、いよいよ本番! 一緒に楽しみましょう!

ナギナタを持つ踊り手 鎌を持つ踊り手

#### 【入場】







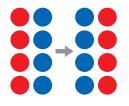


#### 【1番】

腰を下ろし、歌詞に合わせて「ウォー」と大声を発する。

ナギナタと鎌を持つ踊り手は、それぞれ異なる動きををする。隣同十で、 鎌を持つ踊り手が、振り下ろされるナギナタを避け、ナギナタの先端をな でるかのようにしながら払う所作が特徴的である。

また、途中で、左右を入れ替え、さらに、隣同士ではなく、鎌を持つ踊り手 から見て、左斜め後ろの者と打ち合う。















#### 【2番】

突棒を持つ者を先頭にして、縦2列から横2列へと隊形を変える。

1番と同じように、歌詞に合わせて「ウォー」と発する。また、ナギナタを鎌で受 けたり、なでるかのようにしながらナギナタを鎌で払う所作を繰り返す。

さらに、途中でナギナタと鎌を持つ者が立ち位置を入れ替わる。

踊りの最後は、1番と同様に、隣同士の片足が前後交差するほど接し、手のひ らを見せながら腕を交互に上げ、「サーサー・サーサー」と発する。

その後、入場と同じように、突棒を先頭に退場する。









三把はつい

#### どこに行けば見られるの?

◎練 習:場所/井手方集落センターの前庭

◎本 番:敬老会(10月)

井手方集落センター(アッカドン前)→ 馬頭観音→本番の会場→井手方集落

センター







曲来・エピソード

時代は不明だが、山川成川の前薗 集落に目の不自由な祈祷師(座頭)が やってきた。村人の平安を祈祷し相 談相手にもなっていたこの祈祷師を、 人々は親しみをこめ「あからんどん」

と呼び、小屋を作ってあげたという。保存会によると320年以上前の12月14日、この小屋は火事になってしまったが、村人たちはそば汁で火を消し止めた。その後、村人たちは再び火災を起こさないようにと、旧暦12月14日を「あからんどんの日」とし、そばを作り、客に振る舞うようになった。そば切り踊りは、このエピソードを後世に伝えるため、考えられたものである。

## べ見どころ //\*

そばの生地作りから、切る作業、湯がく作業、味付けまでの料理工程を、母と娘(ケサガメ)がかごしま弁を使いユーモラスなかけ合いで表現する様子が繰り広げられます。毎回、ケサガメが話す内容も異なるため、一瞬たりとも見逃せません。時には、観客に語りかけることも。



20年前、二代目ケサガメとして、初代ケサガメから語りや振る舞いを引き継いだ代表の堀内カキ子さん。「銭太鼓で地ならしをし、種を蒔き、鎌でそばを刈り取り、巡り棒で実を落とし、臼で引

いてそば切りを作るという一連の作業を、ユーモラスに表現するところを見て欲しいですね。」と見どころを語ってくれた。

保存会代表・二代目ケサガメ 堀内 カキ子さん





平成5年、成川長寿会が中心となり、「そば切り踊り保存会」を結成。さまざまな施設への慰問や行事にボランティア活動の一環として参加している。現在は三味線7人・唄い手2人(成川三味線会)、踊り手10人、鐘1人、太鼓1人で活動し、毎回披露の際には、地区の男性も道具運搬の手伝いとして同行している。



練習は披露する機会に合わせ、その都度行われている。 そば切りを作り、皆でテーブルを囲むことも。





#### 必要な道具や衣装は?







3 前掛

4 もんペ

5 定袋

6 肌襦袢

#### 【踊り手】

1 手ぬぐい

2 浴衣

3 襷

4 帯

5 前掛

6 手甲 7 脚絆

8 定袋

9 肌襦袢

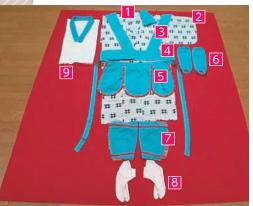
#### 【三味線】

1 着物

2 帯

3 帯締め

4 定袋











# 1







【ケサガメそば切り道具】

- 1 木臼
- 2 ふるい 包丁 まな板
- 3 ボウル・麺棒
- 4 湯がき用釜
- 5 火起こし 杉の葉 てっけ
- 6 盛付皿
- 7 ざる
- 8 調理用釜
- 9 菜箸・そけ



【踊り手道具】

- 1 銭太鼓
- 2 鎌
- 3 巡り棒(小・大)



【太鼓·鐘·三味線道具】

- 1 太鼓
- 4 三味線
- 2 バチ
- 5 バチ
- 3 鐘

## さあ、いよいよ本番! 一緒に楽しみましょう!

【踊り前のナレーション】(一部抜粋)

いつの頃か、川川成川の前薗地区に目の不自 由な祈祷師(座頭)がやってきて村人の平安を 祈祷してくれました。村人たちは相談相手をし

てくれた祈祷師のために小屋を作り、親しみをこめて「あからんどん」と呼んでいました。320年以 上前の12月14日、祈祷師の小屋が火事になり、近所の人々は家々からそばのゆで汁を持ち寄って 消火にあたりましたが、逃げ遅れた祈祷師はやけどを負い、それがもとで亡くなりました。

その後、村人たちは、再び火災を起こさないようにと、旧暦12月14日を「あからんどんの日」とし、 そばを作り、客にふるまうようになりました。

平成5年、2月1日、成川長寿会では、このことを後世に残そうと、「そば切り踊り保存会」を結成し、 施設の慰問や色々な行事にボランティア活動の一環として参加しています。

そいじゃみなさーん、ぼっぼ、いっもんそか~い!



ハンヤ節に合わせ、踊り手が左右から入場 し、前後2列になる。両手の銭太鼓を使って、 円を描くように左右に回したり、肩に乗せた りという動作を繰り返す。地面を叩く動作は、 地ならしをし、種を蒔く様子を表現している。





一度舞台袖に引き上げ、銭太鼓を鎌に持ち替 えて再度入場する。鎌を持ちながら腰をかが め左右に振るユーモラスな動作は、そばを刈 り取る様子を表現している。



0

詞

らす



そば切り作りに必要な道具を舞台袖から運び入れる。初めはケサガメが母親に聞きながら一人で料理を行う。その後、舞台袖から母親が登場し、鹿児島弁でユニークなかけあいをしながらそば切り作りを進めていく。ここで話す内容は、大筋決まっているが、ほとんどがケサガメのアドリブである。





そば切りが完成すると、道具を舞台袖へ運び出す。ハンヤ節に合わせ、長・短2本の巡り棒を持った踊り手が左右から登場する。長い棒を短い棒で叩く動作は、そばの実を落とす様子を表現している。



踊り手が三味線演奏者の前に座ると、ケサガメが登場し、三味線に合わせてハンヤ節を踊る。



最後にケサガメも踊り手の中に座り、幕が下りる。

③ おはんと暮らせは かけた茶わんも ト ② ア、ヨイサー ヨイ ② ア、ヨイサー ヨイ どこの港に 着いた どこのま 西郷どんけ

ょら サーマ 死ねというたり ヨイヤサー

けた茶わんも よか茶わんなー

二代初代

二代目ケサガメを見守る 初代ケサガメ(写真左奥)

# ステップ

#### どこに行けば見られるの?

◎練習:成川いこいの家で、披露に合わせ練習している。

○本 番:長寿会 学習発表会/指宿市老人福祉 センター(3月、11月)山川地域文化祭/山川文化ホール(11月)

田川地域文化宗/田川文化ボール(11) その他、市内のさまざまな行事に随時 出演。





## ☆見どころ ½

古くから漁師町として栄えた 川尻ならではの、非常にテンポ の速い立ち回り、活気に溢れた 踊りは、見る人を引き込みます。

「棒踊り」と「鎌踊り」、2つの独立した踊りの構成も特徴です。





棒踊りは田歌や示現流棒術から生まれた鹿児島独特の芸能であり、島津忠良(日新公)が庶民の忠誠心を培うために踊らせたものといわれている。

川尻では、戦時中一時途絶えていたが、終 戦後の昭和26年に青年団が復活させ、その 後郷土芸能として保存会を結成し受け継がれ ている。



# はいます。

#### 保存継承活動の取組み

昭和45年以降、川尻小学校では、子どもたちが保存会から川尻棒踊りを習い、郷土芸能

に親しむ機会を設けている。現在は4~6年生が、保存会や学校の先生の指導を受けて練習し、運動会や敬老会などで披露している。

また、現在保存会には唄い手がいないが、今後テープの音源を元に、生唄を復活させる取組みをはじめるそうだ。



保存会会長·指導者 中村 一秋さん

小学生のときの経験者が、後にまた踊りたいと保存会員になることも多いそう。







#### 踊り手は?

川尻棒踊り保存会



踊り手は川尻区の出身者や在住者で、30歳代を中心に構成され、踊り手のOBは子ど もたちへの指導者となっている。昔は男性のみの踊りであったが、踊り手が足りなくなっ たことから、現在では女性も加わるようになった。成人女性が踊り手となる棒踊りは、市 内でも川尻のみ。(平成28年度現在)



練習は夜、出演・披露へ向けて、川尻ふれあい交流館で行われる。保存会によると、仲良く、和気あ いあいと続けていきたいとのこと。子どもの練習は、夏休みや放課後と授業時間で行われ、保存会と 小学校の先生が指導する。

#### 必要な道具や衣装は?

【大人の衣装】



#### 【子どもの衣装】





- 1 鉢巻
- 2 浴衣

大人:白基調 子ども:色とりどり

3 たすき

大人:紅白/子ども:3色

4 浴衣帯(金魚)

大人:2色/子ども:3色

- 5 帯
- 6 白いズボン
- 7 草履

【六尺棒・三尺棒】※子ども用は少し短く作ってある。 大人は紅白棒(お祝い事のときに踊られることが多いため)。 子どもは六尺棒は紅白、三尺棒は青白のものを使う。 昔は竹で作った棒を使い、中に花吹雪を詰めて、打ち合う際 に割っていたそう。



【化粧】鼻筋に白線を引く たすきの上に浴衣帯をかける





# さあ、いよいよ本番! -緒に楽しみましょう!



基本は6人1組

#### 棒踊り











「サッサ サッサ」で六尺棒は地面を突き、三尺棒は腰に構えて右手で回す。

「ヒンヤサエイエイ」で前後の踊り手同士膝下で打ち合い、次の「ヒンヤサエイエイ」で頭上で打ち合う(①)

「サノエイ」で回転しながら地面を打ち、次の「サノエイ」で六尺棒を三尺棒が膝下で打つ。

「サノサノ」で六尺棒が棒を回転させながら前後入れ替わり、三尺棒は内側を向いて棒を払う動作をする。(②)

「サノ」で立て膝をつき棒で地面を打つ。(③)

「サノサッサッサ」で三尺棒が両側から振り下ろした棒をしゃがんだ六尺棒が頭上で受け止める。(④)

2回目の繰り返し以降は、「ヒンヤサエイエイ」は振り下ろした棒を頭上で受け止める動作になる。(⑤)

4回目の繰り返しでは「サノサッサッサ」は正面を向いて軽く飛び跳ねて踊り終わる。

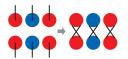
#### 鎌踊り



- ◎棒踊り、鎌踊りとも、六尺棒は立てて地面に突き、三尺棒は 腰に構えて、腰を落としながら膝を回す動作ではじまる。
- ◎披露の際は、棒踊りと鎌踊りを2セットずつ踊ることが多い。



[ヒヤサ エイエイエイエイ]



「ヒヤサ」で棒を振りかぶり、「エイ エイエイエイ」で前後の踊り手と 向き合い頭上と膝下で打ち合う。



「サノ サッサッサッサッサ」



3人1組になり、外側を向き地面を 3回打つ。このとき、踊り手は顔を 左右に振る。



「ヒヤサ エイエイエイエイ」



左右の踊り手が向き合い頭上と 膝下で打ち合う。



右に振る。

3人1組になり、正面を

向き地面を3回打つ。

このとき踊り手は顔を左

「サノ サッサッサッサッサ|



「ホリャイ ホリャイ」



n to

三把遅れ

た

🛑 🦲 🛑 | 正面を向き、三尺棒は しゃがんで足を入れ替 ■ ● | え2回跳び、棒を8の字 に払う。六尺棒は立ち その場で2回跳ぶ。



「ヒヤサ サノ サッサッサッサ| 「ホリャイ ホリャイ」



棒を振りかぶり、前列後 列向き合って地面を3回 打つ。「ホリャイ ホリャ イ」は前と同じ。

踊

1)

 $\bigcirc$ 

唄

#### どこに行けば見られるの?

習:場所/川尻ふれあい交流館

○本 番: 開聞郷土芸能祭/開聞総合体育館

(9月第1日曜日)

川尻区敬老会

開聞地域文化祭/開聞総合体育館

(11月)等

※子どもは川尻小学校・川尻区合同運動会で披露







### ☆見どころ ½

その名のごとく、地元の神話や伝説を 題材にした曲を創作し演奏しており、演 目の題名に合わせた曲の流れや雰囲気、 振り付けが魅力。子どもも大人も一緒に なって演じる、幅広い年齢層でのチーム ワークにもご注目ください。



昭和55年、全国的なまちおこし の流れの中で、青年団が「開聞太鼓 同好会」として和太鼓に取り組んだ のがはじまり。その後、独立した活 動を続け、地域に根ざした郷土芸

能としての存続と継承を願い、「開聞太鼓保存会」 と改称した。現在では「開聞龍宮太鼓」を通称とし ている。



平成元年 開聞岳頂上に太鼓を運んで演奏





平成26年 枚聞神社ほぜ祭り前夜祭での奉納



保存会によると、和太鼓 の演奏は、胎児が聞く母親 の心臓の音に近いと言わ れているそう。喜んでもら

えるような演奏を続けていき、和太鼓の響きが地域の元気づけになるのが願いとのことで、様々な行事等に出演している。

なんと開聞岳の頂上での演奏にも挑戦 したことがあるそうだ。

1 長胴太鼓

4 平胴大太鼓

5 銅鑼

【鳴り物】

6 竹

7 チャッパ

8 チャンチキ











必要な道具や衣装は?



鳴り物 このほか篠笛を使うこともある。 撥など、できるものは手作りしている





4 腹掛 5 長股引

6 華單











# 開 聞龍宮太鼓

演奏者は?

和気あいあいとした自慢の仲間。会員の年齢層は大人から子どもまで幅広い。代表の川 畑光弘さんは、20代で入会し演奏を続けている。子どもたちに太鼓を通して「仲間と一体 になって人前で発表する経験を通して、大きくなったときに発表し、自分をアピールする度 胸を身につけてほしい」とのこと。演奏者の子どもたちは、「昔からある地域の太鼓を自分 も叩くことができてすごいと思う。これからも大事に受け継いでいきたい」と話してくれた。



指導者の坂上次喜さんは、 会の発足翌年から携わってい る。演奏者には、「音を出して いないときも、小さい音のとき も仕草で音が伝わる。観られ ていることを意識する。」こと を特に注意して指導する。学 業のため退会した子どもたち が大人になって訪ねてきてく れるのが嬉しいそう。

#### ステップ **4** さあ、いよいよ本番! 一緒に楽しみましょう!

長胴太鼓 (一尺八寸)





長胴太鼓 (一尺四寸)





締太鼓

太鼓の配置の基本形。曲や人数によって太鼓の種類や配置を変更する。



#### 【主な曲目】

全国に共通する曲のほか、開聞に伝わる龍宮伝説や大宮姫伝説にちなんだ次の曲目がある。

「黎明」「見参」「饗殿 (龍宮伝説乙姫太鼓~歓待の宴)」「躍鼓」「黒潮」「道楽夢風来|「天照の扉(岩屋伝説)|「わっしょい(祭り)| 等

#### 曲目「黎明」

基本形の最後列に銅鑼と平胴大太鼓が加わる。



平胴大太鼓の重厚な音が響く。



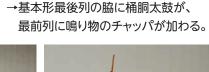
かけ声が勇ましい。高い声を出すのが難しいそう。





太鼓を打つ合間に、腕を前や上に突き出したり、ばちを回したりする振りが入る。







桶胴太鼓と締太鼓は1人で2つを打ち鳴らす。 チャッパははじめ2人並んで正面を向く。



チャッパは2つを両手にもち打ち合わせて音を 出す。





チャッパは舞台の左右から中央に向かって走り、くるっと1回転しながら入れ替わるなど、変化に富む動きをする。









<sup>ステップ</sup>)どこに行けば見られるの?

◎練 習:場所/開聞山麓ふれあい公園

◎本 番:開聞夏祭り/開聞山麓ふれあい公園 (8月11日(山の日)予定)

開聞郷土芸能祭/開聞総合体育館(9月第1日曜)

枚聞神社ほぜ祭り前夜祭/枚聞神社 (10月14日)

開聞地域文化祭/開聞総合体育館(11月) 菜の花マラソン・菜の花マーチ応援(1月)







元来は、男踊りと女踊りで一つの琉球人踊り。 地域の誇りとして、現在では女性が守り伝えている





琉球使節団一行が薩摩に上る際には、山川港に滞在し、枚聞神社に参詣した。琉球か ら薩摩までの往来の情景を描いた唄にあわせて踊るのが琉球人踊りである。開聞入野 地区・物袋地区では、指宿や山川に伝わる琉球人踊りを伝え聞いた人々が、酒の席での 踊りとして、見よう見まねで踊ったのがはじまりとされている。本来は「男踊り」と「女踊り」 2つ揃っての入野物袋琉球人踊りであったが、現在では「女踊り」のみが残っている。





保存会会長 永吉 正文さん



### ☆見どころ ½

独特の手の動きや足さばきがあり、手をきれいに表現できるよう気をつけています。 地域の絆を感じさせる「カチカチ」(竹製の鳴り物)の揃った音にも注目です。保存会長の 永吉正文さんによると、「四つ竹節」での、並列から円形への流れるような隊列の変化が みどころだそうです。

「男踊り」の復活に向けて

琉球人踊りは「地域の誇り」と話 す前保存会長、道地 隆さんによる

と、「男踊り」は「女踊り」とは全く異なり、琉球風の 格好をして面白おかしく踊るものであったそう。現 在では男踊りを踊れる方はいなくなってしまった。

保存会によると、"やはり、「男踊り」「女踊り」2 つ揃ってこその琉球人踊りではないか?"という声 が地区であがったことから、平成27年11月に「男 踊り」の立ち上げ会を行ったとのこと。意見は様々 あったそうだが、今後も踊りが続いていくことを重 視する方向に固まり、入野・物袋の若い男性が作り

> 手になって、子どもたちが"見てい て楽しい、踊ってみたい"と思うよ うな、昔とは変わった新しい踊り をつくる試みが始まっている。

> > 前保存会会長·指導者 道地 降さん



「男踊り」「女踊り」が揃った踊りの様子 (昭和59年4月29日撮影)



上の写真の後、数年間は子どもたちが 「男踊り」を踊っていた

2 浴衣

3 帯

4 前掛け

5 たすき

6 定袋



1 浴衣

2 帯

3 定袋



1 裃

2 定袋

3 草履

※草履は「男踊り」で 履いていたもの。以前 は太鼓演奏者も履い ていたかもしれない

#### 1 太鼓

赤い飾りのついた 竹製の道具。親指と 中指につけて鳴らす。 使用しない曲目では

## 踊り手は?

野物袋琉球



入野物袋琉球人踊りは4回ほど途絶えて、復活させて・・・を繰り返している。昭和57 年、県の農村振興運動の一環で「男踊り」と「女踊り」を踊っている。その後、子どもたち の踊りになったが、親御さんやPTAの負担が大きく、数年で廃れてしまった。

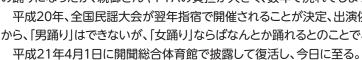
平成20年、全国民謡大会が翌年指宿で開催されることが決定、出演依頼があったこと から、「男踊り」はできないが、「女踊り」ならばなんとか踊れるとのことで、猛練習した。











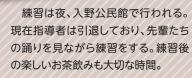


練習風景を見てみよう





親子で琉球人踊りに参加している小学6年生の太 鼓演奏者。同級生や下級生を誘って歴史をつなげて いきたいと話してくれた。







必要な道具や衣装は?

6









#### 2 カチカチ

帯にはさむ

入野物袋琉球人踊り

さあ、いよいよ本番 -緒に楽しみましょう!



基本隊列は平行に3列を成す

#### つぼや唄

→「つぼや唄」~「えいや判官」までは、鳴り物を持たずに踊られる。







手と足を同時に前に出し、掌を返したり、手を横に流す動作が続く。「ヤッパイソゴジャ」で左右下に手を払う。

#### (内地) 浜の歌







横に掲げた手を引いたり、下から上げた手を合わせる動作がある。「ハレワイハレワイーで下に手を払う。

#### えいや判官







足を大きく踏み出し腕を回したり、横へ払ったり、手や太ももを打ったりと、前2曲に比べ勇ましく踊られる。

#### 四つ竹節 一合まいた

→ 「カチカチ」を鳴らしながらリズミカルに踊る。



「一合まいた~」で左右の手を交 互に下から上へ挙げる



「一石一斗~」でカチカチに合わ せ、手と足を同時に前に出す。



「丸くなれ~」で隊列を流れるよう に円形に変える。「角になれ~」で 元の3列に戻る。

は現在追加されている歌詞は踊り手の合いの手の合いの手のかなにしたもの

にな笠はよばれてもおけれるでもおけれるでもおりてもおれるでもおくでもおります。 捨てえる」は

笠

せてはたよりを聞きださる

三石三斗三升三合三勺 00 ハぁ有 しれ高い ハははゎ ヨュ

四石ではま

斗さいい四たたた

四点のの

ハヨーイヤセ)

1升四合

十五夜の月のこれなくなれれまるくない。 すけ角な 如く丸く 如こななあくうれれ ゙゚゙まままま なななな れれなな ある へ la ハはれれ NANA レハヨーイ (コラセ) セせ

どこに行けば見られるの?

習:場所/入野公民館

(開聞十町西部地区多目的集会施設)

番: 開聞郷土芸能祭/開聞総合体育館 (9月第1日曜日)

開聞地域文化祭/開聞総合体育館(11月)



#### え ゃ 判官

入野物袋琉球人踊

I)

女踊り

0

虫がまげまれ

はわ

聞きださる

合一句で

ハぁ有

レれ高

ハははも

31(1)

ーイヤセ)

ヨょ コーイヤセ) 00

浜の歌

いたいとて、叔母おこすや女にや、夜中にやゆけないとうてえーおばあーおごしすかけたかけられているからうな

はぐろ-したあっぽおゃま.

刀擊

このにかいから、おかある、はあえかあら子の二階から、オカル、は上からないとない見て文を読むかる。中良さんない見て文を読むがる。これにないとない。これにないない。







、、「見どころ //\*

六尺棒、三尺棒を持った6人が1組 となり、一糸乱れず、また、前後左右 に入れ替わりながら、棒を打ち合う勇 壮活発な姿を見て頂きたいです。



保存会によると、踊りは他地区 と同様、田植え前後の豊作祈願

であったらしいが、その後、神社の祭りや諸行事に踊られるようになったものである。 往時の薩摩隼人の気質そのままの勇壮活発なもので、六尺棒、三尺棒を持った6人が 1組となり、入り乱れて打ち合う。技術的にもなかなか難しい一大剣劇で、服装は義 士討入りそのままと言ったところとのこと。



衣装に白色・赤色・青色の 3色のたすきをかけている が、激しく踊るとそのたすき も激しく揺れ動く。その様は

とても魅力的で、棒踊りの楽しみ方のひと つだ。



新西方棒踊り保存会は、指宿市北部に位置する新西方区在住の青壮年部有志と児童・生徒を中心に活動している。

当初は、大人たちが継承してきたが、高齢化・会員減少に伴い、平成14年から地区内の小学生への指導を始め、子ども達とのふれあいを大事にしながら継承に努めている。3年に1回は今和泉小学校の運動会で披露することになっており、現在、踊り手の主役は、小学生・中学生となっているが、青壮年の面々も現役として頑張っている。また、最初教えた子どもたちが20歳代となり、貴重な後継者として非常に楽しみな存在となっている。今後も子どもから大人まで力を合わせ、この「新西方棒踊り」を継承していきたい。



練習は、新西方中央公民館前の広場で行われる。 6人1組に分かれ、それぞれに三尺棒、六尺棒の指導者がつき、手ほどきをしながら指導していく。ある程度覚えると、唄にあわせ全体練習を行う。









1 鉢巻

白色の長いもの

2 絣の着物

両袖の縁は赤い布で彩られる

3 手甲

4 たすき

赤色・青色・白色を重ねる

5 袴

6 ゴム底定袋

7 はっぴ

| 唄い手や太鼓を叩く者が着る



長年着てきた絣の着物



【道具】

8 太鼓

9 バチ

10 三尺棒

11 六尺棒

左側は児童生徒用 右側は大人用





∴尺棒を持つ踊り手三尺棒を持つ踊り手

1番



唄に合わせながら、ももを上げ外側へ広げながら歩いて整列する。 前後2列に並び、6人1組で踊る。六尺棒を持つ踊り手は2人で中央に並ぶ。







2 番



六尺棒を持つ踊り手は3人で、後列に並ぶ。左手側を向き、前後の踊り手2人1組で棒を打ち合う。正面から見て左側を向いて踊り始められる。







3番



1番と同じ体制で、六尺棒を持つ踊り手は2人で中央に並ぶ。 正面を向き、列両端の三尺棒が六尺棒を打ち、その後、前後入れ替わりながら棒を打ち合う。







4番



六尺棒を持つ踊り手は4人で、前列・後列それそれの両端に並ぶ。三尺棒を持つ踊り手は、左右の六尺棒の踊り手と組み棒を打ち合う。また、三尺棒を持つ2人は前後入れ替わりながら六尺棒と打ち合う。







唄う順番は定まっておらず、踊られ歌詞は太字。カタカナ書きは実際の

ホーレーナササーアーア サンードエーヤーソラヨ・ホー アメーヘーワエ ヘイヨーヤーサアーメーワエ ヘイヨーヤサアーメーワエ ヘイヨーヤ

ヘイーエーエ

田の牛は 木を引き出す

オーヨウダー (ハイヨー) ダーハーナサマーアーア マエーワエ ヘイーエーーヨ・ホー ハマーハーデ マエーリエ ヘイーエーロワヤーハアハ ハマーハーデ

ステップ

### どこに行けば見られるの?

◎練習:場所/新西方中央公民館 今和泉小学校運動会での披露に向けて、 夏休み期間中に小学生(4·5·6年生)へ 指導する

◎本 番: 今和泉小学校運動会(1回/3年) 新西方区 区民祭(2月)



# 士官節

士官節保存会



型があるようで型がない士官節、 踊って楽しい、見て楽しい。





一見、ひとりひとりの踊りに個性 があるように見えて、手さばき、足さ ばき、腰の落とし方などの基本的な 部分は見事に揃います。

赤いたすきの使い方にも注意!





保存会によると、日清・日露 戦争の頃、出兵していく兵士の エピソード 武運長久を祈って、この地区の 人々が着物姿で太鼓や三味線

で伴奏しながら踊ったと伝えられている。

戦後は、新築の棟上やお伊勢講の時など、 細田西を中心に踊られていたと言う。それが 途絶えてしまい、平成12年に「士官節保存会」 が発足した。



ひょっとことおかめの面が描かれた浴衣をしゃれた帯で腰止めし、ゆっ たりとした楽しい踊りである。踊り手も笑顔が絶えず、見ている方も自然 と口元が緩み、体が揺れ始めてしまう。



山澤 昭夫さん(78歳)

元保存会会長 三男さん(93歳)



### 歴史ある郷土芸能ができるまで

### 踊り手は?

士官節保存会



「士官節保存会」は、指宿市北部に位置する新西方地区の細田西集落の住民を中心に 活動している。当初、細田西集落に在住する人達だけで踊られていたが、後継者が少な くなってきたため、集落を越えて、新西方区内の住民で「士官節」に興味があり、楽しく踊 りたい人たちが集まり、踊りの継承が行われている。



練習は、細田西公民館で、 楽しい雰囲気の中で行わ れ、みんな笑顔が絶えない。





4 帯

5 ぞうり

6 はっぴ

唄い手や太鼓を叩く者が着る

【道具】

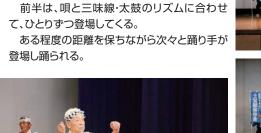
7 太鼓

8 バチ

9 三味線



### さあ、いよいよ本番! -緒に楽しみましょう!







踊り手は、舞台中央まで来ると、ひざまずき ながら手や腕を巧みに使い、個性豊かな踊りを 踊ってから退場する。

後半は、前半の最後尾の後、2回目の登場し、2列を作り両腕を左右・上下に振りながら踊られ る。肩にかけている赤いたすきを片手または両手で持ちながら個性豊かに踊られる。













こうは母上参るぞと こ度の言葉はかわされた 石童次第に消え去った 石童次第に消え去った 石童大郎れば思い出す 一坂上がれば思い出す 一坂上がらぬその時に はるか向を眺むれば 生きているやら死んだやら 生きでいるやら死んだやら たのおん手に練香もち 一人トボトボやってくる れを見るよりことで れを見るよりことでくる たを て石童は喜んでを証拠に訪ね行けのマユゲにホクロ マよ 待ちなよ石童 高く 後を見て 石童その手にとり そこのあた

は

ŧ

もと

明日は

母は石童

2

、所は高野・

山ボ

た所は麓茶屋

なか父様よりすがり

日ははや西に落ちかかる 今夜は石童にうち向かい 今夜はごこに宿を取る 明日は御山に登らんと 親子二人がもろ共に 楽しく語るその時に 一と間で聞し亭主うが フスマ開いて膝まづき もしやこれいな旅の人 女は御山にゃ登られぬ 聞いて母上はや涙 間いて母上はや涙 でがしもとめて故郷に つれて帰れのひと言葉 でがしもとめて故郷に つれて帰れのと言葉 ではいて石童は喜んで さがしもとめて故郷に つれて帰れのと言葉

明けの

大隅 薩摩六ヶ国 加藤左衛門秀氏と 名乗れば苅萱鷲いて さては我が子の石童と さては我が子の石童と さればガヴラの石童と さればガヴラの石童と 私と親しき、 おなたの! 今はこ かくれたなが 世の 帰 対意は、対意ななごと が身 0 ため 2 ばて 私の帰りを待たずれんだる母にとり 母 ij

ヨだ



と後を見る

見る

あ

そ

時

ねども







◎練 習:場所/細田西公民館

時期/10~5月までの月1回

◎本 番: 新西方区民祭/新西方中央公民館(2月)

今嶽神社六月灯/今嶽神社(7月)





### べ見どころ //\*

色鮮やかな衣装に着替えた後、先輩に凛々しい表情の化粧をほどこしてもらい、支度が整います。

大小6つの太鼓と、大小6つの鉦が打ち鳴らす千変万化のリズムに合わせ、勇壮に踊る姿は見ごたえがあります。また、唯一の女形「入れ鼓」の神秘的な舞にも注目してください。



文禄・慶長の役の折、武士の指揮を高めるため、女形1人を含む踊りをしたところ士 気が上がったと言い伝えられ、昔から祝事や祭典、雨乞いなどの際に踊られてきたと 言われている。

また、江戸時代、参勤交代の大名行列の送り迎えに士気を鼓舞するため踊り始められたという説もある。

踊りは昭和11年頃を最後に一時途絶えていたが、現在指導にあたっている西中川さんの父が手帳に書き記した譜面が見つかったことをきっかけに、かつての踊り手たちが懸命に記憶の糸をたぐり寄せ、昭和53年に42年ぶりの復活を遂げた。それ以来、地域の人々によって大切に継承されている。



鬼神は、見物人 の鬼祓いをしたり、 場内整理をしたり、 入れ鼓に近寄って

道化て見せたり、時には跳躍する こともある。小さい子どもにとって は、少し恐い存在でもある。

### 踊り手は?

# 中川ごちょう踊



代表となる公民館長を筆頭に、中川地区の防犯部の男性22人からなる。役割は、親鉦 2人、小鉦3人、ショゴ1人、入れ鼓1人、太鼓5人、鬼神5人、旗持ち1人。地区の小学生姉 妹が加わることもある。

歴史ある郷土芸能ができるまで



中川自治公民館において、1月1日の披露に向け、10 月~12月まで毎月8回の練習が行われる。練習の後 は、皆で親睦会をするのが恒例となっている。







4 絣の着物

6 胸あて

7 狩袴 3 ハチマキ

8 美單

13 小鉦 9 肌襦袢

【鉦】 1 鳥帽子

2 耳あて

5 帯

10 たすき

11 地下定袋



キャキャ ズシ キャキャキャン キャキャ ズシ

| hthe hthety | http://www.hthety | ht



2 絣の着物3 帯

8 地下定袋

4 加襦袢

9 太鼓

# さあ、いよいよ本番! -緒に楽しみましょう!



①踊りは、高祖神社への奉納から始まります。 1.ミチュキ(入場)~2.ニワイ~3.ヅーヅ~1.ミチュキ(退場)



②1.ミチユキに合わせ、公民館へ入場する。



③2.二ワイの曲で、前列に鉦、後列に太鼓、周り に鬼神が構える基本形となる。



る。



④3.ヅーヅの曲に合わせ、踊りながら円をつく ⑤4.小牧べの曲で、踊りながら円を完成させる。



⑥5.下り~6.ススカカ~7.七ッベの曲に合わせ ⑦8.引ッベの曲で円をとき始め、基本形に戻る て踊る。



まで曲の後半部分を繰り返す。



公民館には、復活当時に作成されたという、手書きの楽譜が掲示されています。元々、 14番まで踊られていましたが、現在ではより継承し易いようにと、8番までに短縮され踊 られています。

### どこに行けば見られるの?

◎練 習:10月~12月の間、毎月8回

◎本 番:毎年1月1日11時~









# はまった。エピソード

相撲甚句は昭和の初期より、当地 に五穀豊穣を祈願する奉納踊りとし て存在していた。終戦直後の揖宿神 社の浜下りや昭和29年の指宿市誕 生の際などの節目で踊りを披露して

いる。踊り手は青年団、婦人部によって連綿と踊り継がれている。現在は、下吹越相撲甚句保存会 として地区内外の行事等で披露しながら、一致 団結して地域を盛り上げ、保存継承活動に取り組 んでいる。

### ☆見どころ //\*

力士たちが身に着けているまわしには、各力士の四股名が記されており、四股名には指宿市内の名所や特産品が選ばれます。行司による面白おかしい力士紹介も魅力のひとつです。

その一方で力士たちの踊りは非常 に力強く、力こぶをみなぎらせて観客 を魅了します。



現在、下吹越相撲甚句保存会の代表を務めている坂本三好さん。力士の四股名は行司がみずから考えるそうだ。観客をいかに笑わせるかが、行司の腕のみせどころ。

保存会代表 坂本 三好さん



### 踊り手は?

保存会下吹越相撲甚句



相撲甚句は下吹越相撲甚句保存会の26人で構成されている。役割は、踊り手である 力士15人、行司1人、太鼓1人、拍子木1人、旗持54人だ。



練習は下吹越公民館で行われる。六月灯や敬老会などのイベントに向けて1~2ヵ月前から練習が始まる。

### 必要な道具や衣装は?





1 着物

2 烏帽子

3 軍配

4 定袋



### 【旗持ち】

1 豆タオル

2 はっぴ

3 前掛け

4 パンツ

5 旗



### 【拍子木】

1 豆タオル

2 ゆかた

3 拍学术





相撲甚句

相撲甚句の唄

相撲甚句

### 必要な道具や衣装は?



### 【太鼓】

1 豆タオル

2 はっぴ

3 パンツ

4 足袋 5 太鼓



### 【力士】

1 豆タオル 2 網

3 化粧まわし

4 パンツ





【力士】

豆タオル
2 綱

3 化粧まわし 4 パンツ



(あ~ どすこい どすこい)相撲はこれから調子をかえてねえ~え (お~い) 三合の米くて、 船がいよ~ さんぞう出た。ど(あ~ どすこい どすこい 相撲とえさん (とお)どすこい(どすこい) これより下吹越相撲甚句保存会によります なかのや三人乗い (あ~ どすこい からカメがもいあがる。~ 二のや枝には銀がなる。(あ~ どすこい どすこい) 正月元旦、雪はシャラシャラ降り積もる~。 指宿三軒倉よりも、 どすこい どすこい どすこい ボロ着て じゃればこそ 小唄の心でやっちょい もいさがる~ え〜五葉の松よ どすこい) どすこい) どすこい) どすこい) さんば俺どが船じ 表の花園にゃ五葉の松。 よいかかもったが一生の得じ どいがどいとん知れぬ ちりめんのまわ 三の枝にはゼニがなる。 やっちょい ○○場所とり行います 障子開ければ銀世界

(あ) どすこい どすこい)(あ) どすこい どすこい)後にゃ残るは、さんば、女、こど

# 力士紹介の

足の長さは指宿一 金太郎~。

緑豊かな 魚見山~。

桃太郎~

・縁結びの島知林ヶ島の友達 小島・一般結びの島知林ヶ島の友達 小島・一般を表しの里 砂むしの浜~・ピンク大好きちょっとエッチな・ピンク大好きちょっとエッチないは深し 忍の海~。

き と。 湯豊乃里~。 湯豊乃里~。

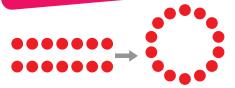
・魚が群れをなす 知・温泉豊かな指宿 温 吹越乃海~。

指宿名産 めますは東の横綱 魚馬亭から引っ張りダコの帯指宿焼酎西の横綱 到ったりずコのをなす 知林乃海~。

利右衛門~の蚕豆の里の

んだ相撲といどんにゃもどった~

### ステップ **4** さあ、いよいよ本番! 一緒に楽しみましょう!



力士紹介は横2列。踊りに入ると、円形になり、内側を向く。



太鼓と拍子木に合わせて行司・旗持ちが入場し、 相撲甚句が開催される場所名を読み上げる。



力士が入場し、2列になり腰をおろす。行司のユニークな紹介によって力士は1人ずつ立ち上がる。



太鼓の合図で力士達が円をつくり、曲が流れる。



右足をあげ、両手を水平に広げる。



両手をあげ力こぶをつくりながら、時計回りに ゆっくりと足を進める。



両手を左右に振り下ろしながら円の中央に寄り、再び力こぶをつくりながらゆっくりと後退する。



曲が終わると太鼓の合図で正面を向き、1列にな り退場する。



力士が退場した後、旗持ちと 行司が中央に向かう。行司 が打ち止めを宣言し、太鼓と 拍子木の合図で退場する。







戦前は上半身裸ではなく、浴衣を着て踊っていた。戦後から昭和にかけては女性も踊り手となって踊り継がれてきた。現在では30代~60代の踊り手が数多くいるため、継承はうまく進んでいる。将来的には子どもたちにも踊りに参加してもらい、集落全体で保存していく予定だ。



◎練 習:本番の1~2ヶ月前

◎本 番: 敬老の日(9月の第3月曜日)

/ 下吹越公民館







はまった。エピソード

その昔、島津義弘公が文禄・慶長の 役の戦勝を祝って踊らせた説や、財政 ひつ迫の折、開田のための農民動員を した25代藩主・重豪公が余興として踊 らせた説など諸説あるが、農作業の合

間のレクリエーションだったと伝えられている。踊りの仕草に地面をたたく動きが多いため、眠っている地の霊をおこして、豊作を願うのだという。

現在の会長らが、昭和49年に25年ぶりに復活させ、現在まで踊り続けられている。

### べ見どころ \*/\*

六尺と三尺2種類の棒を、果敢 に打ち合う勇壮な姿は必見。 六尺棒2人、三尺棒4人を1組と して踊ります。







保存会が活動する大山集落センターの敷地内には、昔の写真や農機 具など貴重な資料が収められている「大山郷土資料館」があり、この地域 の歴史や文化を知ることができる。

### 踊り手は?

大山棒踊



大山棒踊り保存会は、唄い手1人、大人の踊り手約30人で構成される。保存会では、 踊りの保存・継承のため、地域の中学生約20人に指導を行う活動も続けている。毎年、 大山区の六月灯や敬老会などで披露されるのを、地域住民も楽しみにしている。





練習は、大山集落センターで行 われ、先に大人が踊って手本とな り、中学生を指導している。







### 必要な道具や衣装は?

【子ども用】







【唄い手】









5 たすき

6 手甲 7脚絆

8 わらじ

10 股引

11 紋付

12 袴 13 定袋

14 草履



大山棒踊り

### ステップ **4** さあ、いよいよ本番! 一緒に楽しみましょう!

- 三尺棒を持つ 踊り手
- 5 6
- 六尺棒を持つ 踊り手
- 3 4



踊る隊形(3列)に並び、入場する。





唄に合わせ、隣同士勢いよく打ち合う。





六尺棒を持つ③と④は、それぞれ左右の踊り手の棒を上で受け止めた後、前後の場所を入れ替わる。



入れ替わった③と④は、左右の踊り手の棒を上で受ける。その後、前後でそれぞれ打ち合い、 再び③と④は左右の踊り手の棒を上で受け止め、前後を入れ替わる。



休息時の唄も含め、4番踊ったら退場する。









ででいる。 はながある 寄て慰む こうには、顔野のきじは おかのせにすい (無所が折れた 三ばおくれだい。 焼野のきじは おかのせにすい な女が通る 寄て慰む こうには かんがしで 前は大河 一・お城が山で 前は大河

 $\mathcal{O}$ 



唄い手の内薗光弘さん

### ステップ

### どこに行けば見られるの?

◎練 習: 大山集落センターで、祭りや敬老会な どの出演に向けた練習が行われる。

◎本 番: 六月灯/大山集落センター(7月) 敬老会/大山集落センター(9月)











### **、 見どころ //**\*

道化役を演じる「ヤンチャ」の特徴的な化粧 と滑稽な所作が、観衆の笑いを誘います。



豊かな表情を出すため、丁寧に化粧をほどこす。



薩摩を訪れていた琉球使節団は山川港を中継地としていたが、その道筋に大山があったため、地域の人々と交流があった。その使節団の様子

を歌や踊りにしたものが教え継がれ、集落の祝い事や、農村慰安会などで披露されてきた。後継者がいないことで一時途絶えていたが、昭和62年、27年ぶりに復活し、現在に至っている。







左は、昭和24年の写真。男性のみで構成されていた。右は昭和35年の「大山公民館落成式」の様子。この頃は女性だけで踊っていた。 昭和62年の復活以降は男女で踊っている。

### 踊り手は?

山琉球 保存会



昭和62年の復活以降は男女で踊られるようになり、現在は、大山地区に住む男女15 人で構成されている。

### 練習風景を見てみよう

練習は、大山公民館で行事の開催 前に集中して行われる。囃子ことばや 太鼓・鐘のリズムと、踊り手の動きを ぴったり合わせるのが難しい。







### 必要な道具や衣装は?

### 【踊り手(男性役)】





1 鉢巻(4色)

2 浴衣

3 帯 4 股引

5 テコ

6 伊達帯

7 腰紐

8 脚絆

9 足袋

10 草履



【踊り手(女性役)】



1 紫の布

3 飾り帯

1 帽子

3 帯

2 紺絣





【唄い手】

1 着物

2 長襦袢 3 帯

4 腰紐 5 定袋

6 草履

4 紫の帯布 8 腰紐

【ヤンチャ】

5 テコ

7 伊達帯

6 帯



10 定袋

11 草履

4 ズボン 7 笛

2 長襦袢 5 足袋 8 ひょうたん

6 わらじ





1 傘

4 蜂の巣

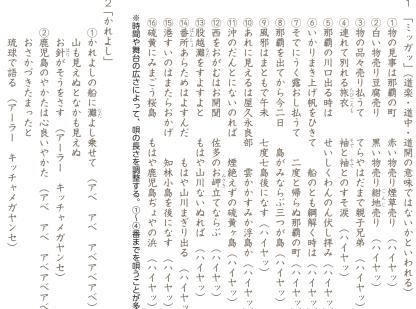
6 太鼓大

2 扇子 3 拍子木

(傘の飾り) 5 太鼓小

7 鐘小 8 鐘大

大 山



さあ、いよいよ本番! -緒に楽しみましょう!

①進行方向2列に並び、歌 詞1の唄に合わせ、3~4 回同じ踊りを繰り返す。



②道具を置き、歌詞2の唄 に合わせ、ユーモラスな 動きと掛け声で踊る。2 回ほど繰り返す。



③円の中を、ヤンチャが自 由に踊り回る。(歌詞3)



④進行方向2列に並び、歌 詞4の唄に合わせ、3~4 回同じ踊りを繰り返す。



3「いづの間」

つの間に来たか

この鹿児島に

※( )は踊り手の合いの手。※時間や舞台の広さによって、

「ミッガッ」(道楽・道中・

道開の意味ではない

の唄に戻る。

### どこに行けば見られるの?

習:大山集落センターで、祭りや敬老会な どの出演に向けた練習が行われる。

番: 六月灯/大山集落センター(7月)



敬老会/大山集落センター(9月)





はまった。エピソード

この棒踊りは、明治38年日露戦争の祝勝の時、今和泉村池田区字大迫の大迫長兵衛氏の指導により始まったと、当時の青年団の書類に残されている。

その後、一時途絶えていたが、昭和38年に小川区柔道スポーツ少年団の結成を機に復活された。

昭和56年に小川区棒踊り保存会が結成され、それ 以来、子どもに指導することで踊りを受け継ぎ今日に 至っている。



小川区でお祝い事がある度に 踊られてきた小川区棒踊り。敬 老会で子どもたちは、練習を重 ねた棒踊りを披露する。観客は、

自分たちが踊っていた頃を思い出し熱心に見 入る。子どもたちも「昔からやってきていること を自分たちもやっていることが、かっこいい」と 誇らしげに踊っている。



左足を軸足にして右足がどん どん動いていきます。回転しなが ら激しく打ち合う棒と棒が重なる 音と子どもたちの掛け声が観衆を 魅了します。





## ステップ

### 踊り手は?

小川区棒踊り保存会



小川区棒踊り保存会は、昭和56年に結成され、現在、会長は区長が務めている。毎年、原則3年生以上の小学生と中学生が、7月から練習を始め9月の小川区敬老会で披露している。



練習は、小川区集落センターで行われ、保存会の会員が、小・中学生を指導している。「棒の先を見ながら踊ると相手に怪我をさせることがない」など、安全面に気をつけた指導が、行われている。上級生は、指導者から教わったことを下級生に伝えながら練習を進めていく。





# ステップ 2

### 必要な道具や衣装は?





### 【衣装】

- 11 鉢巻 白い鉢巻
- 2 着物
- 3 たすき
- 緑、紺、赤の3色
- 4 帯
- 5 手甲
- 6 脚絆
- **7** 定袋 黒
- 8 わらじ
- 黒い足袋を履いて からわらじを履きま す

### 【道具】

- 9 三尺棒
- 両端の踊り手が持 ちます
- 10 六尺棒 中央の踊り手が持 ちます
- 11 纏



### さあ、いよいよ本番! ―緒に楽しみましょう!



踊る体系(3列)に並び、入場す る。①、②、⑤、⑥が三尺棒を持 ち、③、④が六尺棒を持つ。











**唄と地面を突く纏に合わせ、六尺棒を持つ者は、棒を地面に付けたまま、三尺棒を持つ者は、左腰** に刀を差すように持つ。右手は、腰に当て体をゆすってリズムをとる。





左右の組で下と上で棒を打ち合い、六尺棒を持つ③と④は、それぞれ前後の踊り手の棒を上で受 け止めた後、左右の場所を入れ替わる。前2人と六尺棒の1人、後ろ2人と六尺棒の1人が、下で棒 を打ち合う。



六尺棒を持つ踊り手は、めまぐるしく位置を入 れ替わりながら繰り返す。



唄に合わせて、入場した方へ退場。

ま 0 は ツヨ ウワ

(地築)

かまん! え

ウエカウヤ ワレ 3

は山で

えなは

ハヤマアアイオワハヤハ

7

T

け

お

/ / ズワ キワ、 オ、

-イヨオ ・ イヨオ

エン

ヨオ

-イスマセオ マセオ

棒踊

1)

0

ね

は

わ 0

10

### どこに行けば見られるの?

◎練 習:小川区集落センターで、敬老会や祝い事、 祭りなどの出演に向けた練習が行われる。

○本 番:敬老会/小川区集落センター(9月)





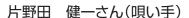


曲来・エピソード

いつから始まったかは定かではないが、以前は旧暦の10月最初の亥の日に、その年に収穫した新米で餅をついていた。これには、神仏に供えて豊作を感謝するという説と、収穫後の土地を突き鎮める神事であったとする説が

ある。亥の日の言い伝えとしては、猪が多産であることから、 子孫繁栄を願う意味があったとされている。

また、石突きは土の中のモグラやケラ、ネズミ等の害虫を追い払うためとも言われている。いずれにしても、子どもたちが、神の使いとしての聖なる役目を担っていたと考えられる。



行事をはじめる前に、害虫の絵を見せながら、 子どもたちに由来を説明する。



☆見どころ //\*

稲刈りの季節を終え、山に 帰る神々に感謝し、五穀豊穣

楕円形の石に縄をくくりつけ放射状に伸ばし、唄に合わせて縄を引き上げ、引き下ろ

すことで、石と地面に埋めた

石とを突き合わせます。さら

に、円状に編んだ籠に子ども

を乗せて石を突きます。非常

に珍しい伝統行事です。

を祈る行事。



↑ ト地区の三叉路



↑下地区の片野田氏神神社

### 「亥の日の石突き」の復活

片野田では、かつては各世帯で餅つきを し、上地区と下地区の二手に分かれ、上地 区では道路の三叉路の中央に石を埋めて、

下地区では片野田氏神神社の境内で、それぞれ石突きを行っていた。やがて、子どもが少なくなったことや農家が減ったことから、昭和35年頃に行事は途絶えてしまった。しかし19年前、上地区の 萱 変路沿いの竹林に住宅を建てる際、石突きに使っていた楕円形の石が発見されたことから、経験者の記憶を頼りに行事を復活させた。現在では、片野田公民館を会場に、地区全体の行事となっている。





### ステップ

### <u>だれが守り伝えてい</u>るの?

亥の日の行事は、片野田公民館を中心に子どもたち、PTA、敬老会、婦人部の方々などが、大人から子どもまで大勢集まって行われる。

年配の方々の力でムラの子どもたちを育てていき、「亥の日の石突き」を、皆で集まって楽しむ行事として伝えていきたいとのこと。







### 他の地域でも復活!福元区の「亥の日」



山川地域福元区では、戦前まで「亥の日の石突き」が各集落で行われていたが、戦後は次第に消滅。1集落で細々とつないできたものを、平成28年11月23日に、区全体の行事として復活させた。福元区には、片野田地区とは異なる亥の日の唄が伝わっている。

唄は"木曽川の治水工事で財政困難に陥った薩摩藩は年貢米の取立てが厳しく、亥の日がきたのに「亥の子餅」をつく米が無い"という内容。



### ステップ

### 必要な道具は?



楕円形の石。これに針金を巻き、縄が放射状に結ばれる。重さは11.2kg。



カンネンカズラを円状に編んだ籠。この上に子どもたちが乗る。

### (ステップ) (**3** )

### 準備風景を見てみよう







朝9時ごろから約10kgのもち米を炊き、石臼を使って餅をつく。大人たちが材料を持ち寄り、子どもたちも一緒に調理する。

男の子たちは、うちわを手にもち、火力調整のお手伝い。餅つきの仕方を教えてもらい、大人と交替で杵をもつ。女の子たちは女性たちに教えてもらいながら餅を丸めていく。こうして出来上がった餅を皆で集まって食べるのが、三世代交流の場となっている。

餅を食べ終わると、子どもたちが唄に合わせて石 突きをする。





普段は公民館の広場に埋められている石を、頭だけ掘り出す。この石を、縄を巻いた石で突く。

# マラップ 4

### いよいよ始まるよ~



①円陣を作り、唄に合わせて放射状に結んだ 縄を皆で同時に引き上げると、楕円形の石 が高く上がる。



②縄を引き下ろすことで、楕円形の石で地面 に埋めた石を突く。 ①と②を唄が終わる まで繰り返す。



③次に、カンネンカズラで編んだ円状の籠に 子どもが座り、石突きと同様に唄に合わせ て縄を引き、籠を高く上げる。



④縄を下ろし、子どもが乗った籠で石をつく (石の上にはシートと毛布を敷く)。③と④ を繰り返す。



昔から続いている 歴史を知ることが できてよかった



毎年楽しみな行事。 籠にのって引っ張られる、のは痛いけど楽しい!



声が出ないときには馬の糞をなめよ東枕の棚の下東枕の棚の下

コエガデントキャーウンマンクソナブレヒガシマクラノ タナノシタウシトミチ ドンドン ドコジャロカイイノーヒ モーツ ツカンター ダイカ

# ステップ

### どこに行けば見られるの?

◎開催日:11月第2日曜日 ◎場 所:片野田公民館













### ☆見どころ \*//\*

動いているダイダイやボンタンを射るのはとても難しく、見事命中すると、拍手と歓声が湧き上ります。

イシナトは尾掛地区に伝わる伝統行事で、子どもたちは、「イシナト、イシナト、何じゃ無か、飛べヨ」のかけ声に合わせ、転がるダイダイやボンタンを目がけて一斉に矢を放つ。「何じゃ無か、飛べヨ」というのは、「心配せずに飛べよ」ということである。「イシナト」そのものの意味は分かっていない。

もともとはその年の吉凶を占う行事などが、子どもたちの遊びに変化したものといわれており、1月1日~7日までの適当な日に地域の子どもたちが竹の弓矢を持って集まり、弓で的を射て、射当てた者にはミカンが与えられていたそうだ。現在は、1月1日に子ども会の行事の一つとして行われている。

### イシナトに参加する子どもたちは、大忙し?!

子どもたちは、元旦の早朝6時半、 初日の出を拝むため、近くの「魚見 岳」の頂上を目指し出発する。下山

した後、イシナトの行事を終えると、前日から保護 者が仕込みをしていた豚汁で体を温める。その後さ らに書き初めを行い、文字の上達を祈願する。そう して新たな1年がスタートするのだ。



# ステップ

### だれが守り伝えているの?

イシナト保存会



当日は、尾掛地区の子どもたちと保護者が中心となって行事を行う。年末に行う竹切りの作業は、昔から行事に携わる地域の方々が子どもたちに指導しながら、進められる。

### えテップ **必要な道具は?**



[ダイダイ・ボンタン]



[竹で作った弓と矢] 弓にはたこ糸がピンと張ってある。



足元の目印も切り出してきた竹を使用している。

### ステップ

### 準備風景を見てみよう

### [竹を取ろう]

竹林から、弓の材料と射る場所の目印となる太く大きな竹を切り出す。 細い竹は、矢に使われる。







### [弓と矢を作ろう]

竹を適当な太さに割ってしならせ、弓を作る。両端の弓はずには、たこ糸をかけるための切り込みを入れる。 矢は、細い竹を適当な長さに切り、先端を尖らせ、矢はずには、弓の弦がかかりやすいように切り込みが入れられる。





弓の両端の弓はずに は、たこ糸をかける切 り込みを入れる。

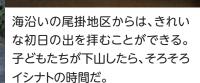






### ステップ 4

### いよいよ始まるよ~



さあ、準備は万端! 皆、真剣な表情で弓を構える。



今でも行事に携わる中崎一夫さんによると、昭和30年頃、中学2年生当時は、子どもたちのいる世帯を1軒ずつ回り寄付をお願いし、田之畑地区や垂門地区にミカンを買いに行っていたという。その頃は男の子だけの行事で、東西2つの地区に分かれ、50mほどある塀沿いの溝に小学生と中学生が並び、ミカンを転がし、矢で射ることができたミカンは、もらえたそうだ。余ったミカンは、頂いた寄付金に応じてそれぞれ分け与えていた。

中崎さんは、「当時地区には120人ほどの子どもがいた。今では少なくなってしまったが、こうして引き継がれていることが嬉しい。」と語ってくれた。



中崎 一夫さん



見事、射ることができ、満面 の笑みでポーズ。射ったボ ンタンは持ち帰ることがで きる。



会場となる尾掛生活改善センター内には、これまでの 写真が飾られている。



◎開催日:毎年1月1日8時頃~◎場 所:尾掛生活改善センター





利永区









庭に残るダセッボーで突かれた穴

### ※見どころ //\*

子ども達がダセッボーを両手に持ち、新婚家庭の子孫 繁栄を祝う祝い言葉を大きな声で叫びながら、リズムに合 わせて地面を勢いよく突く姿が愛おしい。

また、お礼のお菓子をもらった時の子ども達の笑顔が微笑ましい。



利永区の「ダセチッ」は、指宿市内で唯一、 継承されている「嫁女祝」で、利永区でしかみ られない貴重な伝統行事。

1月14日に、前年に嫁を迎えた家に子ども達が「ダセッボー」を持って祝福に訪れる。

かつては、市内の各集落で行われ、ハラメウチ、ハラ

メユエ、嫁女祝、ダセッ、ダセッボーウチ、ボゾレ、カセダウチなどと呼ばれていた。

また、ダセチッに行く前や帰り際、または翌朝に、自分の家の屋敷内のある実のなる木をダセッボーで叩く「ナレナレ」と言われる伝統行事が行われていましたが、現在は途絶えてしまった。



### 「ダセチッ」で唱えられる祝い言葉

ダーセン ケボボ、ケボボガ ヅキナッテ、 シッタラベガ ボロボロ、

ハナヨメゾハ イッドニドハッズンナ

[ヅキ:上、シッタラベ:ウラジロ、ハッズンナ:出ていくな] この祝い言葉は各集落で異なり、「ハラメ ハラメ〜」と 新妻の懐妊を祝う言葉が含まれることもある。

民俗学者の小野重郎氏らがまとめた『薩南民俗』第6号には、かつて指宿市内の各集落で行われていた「嫁女祝」の名

称や使われる棒の名前、さらに棒の材料や模様のつけ方、祝い言葉などがまとめられ、 各集落の差異が明らかにされている。ぜひ参照してみて。



### ステップ 1

### だれが守り伝えているの?

「ダセチッ」は、利永区の 児童たちを中心に継承して いる。小学校6年生が頭となり、下級生を先導する。

昔は、男の子だけの行事であったが、現在は女の子も 参加している。

祝い言葉には、隠語が含まれており、戦後間もない頃に参加した女の子たちは顔



を染めながら恥ずかしそうにしていたとのこと。

利永区に住んでいない新婚家庭の場合でも、夫婦どちらかの利永区の実家の庭先で ダセチッが行われている。

かつて行われていた集落

- ◎指宿地区:小牧・宮ヶ浜・田之畑・中川・永嶺・道上・水迫・石嶺・池崎・大迫・仮屋・新永吉・ 下門・田良・上吹越・尾掛・十町・南・木之下・玉利・高之原・片野田・中小路など
- ◎山川地区:利永・尾下・鰻など
- ◎開聞地区:仙田など



### 必要な道具は?

### ダセッボー

子どもたちの父親または祖父が、カシの木を材料に作られる。1人に1本ずつ作られ、ダセッボーには氏名・作った年月日が黒文字で書かれている。

また、「だせ」または「ダセッボー」の字が書かれることもある。

ダセッボーの先端は、地面を突きや すいように斜めに切られている。

棒の上下または片方に、たすき模 様が付けられている。

普段、ダセッボーは、自宅の床の間に立てかけて、大事 に保管されている。

「ダセッボー」は、市内の各集落によって、ハラメンボー、ハラメウチボー、ハラメッソ、 ハナノツソ、ハラモッソ、イッスンボー・ナレナレとも呼ばれていた。



# ステップ

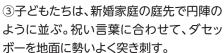
### ダセチッを見よう







①新婚家庭に向かう子どもたちの行列。 ②それぞれの新婚家庭によって異なるが、 昔からの伝統で、座敷で頭の6年生にごち そうを振る舞う場合もある。



④ ダセチッが終わると、お礼のお菓子をもらって次の新婚家庭へと向かう。多い時は数軒回るため、お礼は大きな袋いっぱいとなり、それを背負う子どもたちの姿が微笑ましい。



### どこに行けば会えるの?

◎本 番:ダセチッ(1月14日夕方)◎場 所:利永区内の新婚家庭の庭先







「メンドン」が行われる日は、利永区の集落全体

が独特な雰囲気に包まれます。

県内の伝統行事の中でもめずらしい行 事、集落内外から参加者や見学者が道端 に集まります。

参加する場合は、伊勢講の祠を乗せた オドド(神輿)にお賽銭を入れ、頭を下げなが ら、オドドの下をくぐると、そこには、メンドンが!

メンドンから顔にヘグロをつけられてからオドドメシ(白飯)を頂きましょう!

一年間無病息災でいられるらしいですよ。



昔、疱瘡などの疫病が流行り、地区の代表が伊勢神宮に参り、そこでお札をもらい帰ってきた。伊勢神宮の神様の化身となったのが、「メンドン」である。

従来、毎年1月16日であったが、平日開催では参加者が少ないため、平成20年から1月の第3日曜日に行うようになった。





「メンドン」では、真っ黒のヘグロをつけた大根を手にしたメンドンに集落の住民が追いかけられ、逃げ惑う人々の歓声でにぎわう。特に、幼児は親に抱きついて大泣きし、園児や児童は真剣

に走って逃げ回る。

これを「ワアッメイ(ワヤク参り)」ともいう。ワヤクとは「いたずら」・「無茶」などの意味である。

### だれが守り伝えているの?

「メンドン」は、利永区の 住民によって守り伝えら れている。

戦前は、利永に6組の 伊勢講があり、それぞれ のオドドナオイ(神宿移り) の途中にメンドンが出て いた。戦後は、6組の講を



ひとつにまとめ、利永神社で神事を行った後、集落内を巡回して神社に帰る形となり、そ の途中でメンドンがでるようになった。

### 必要な道具は?







2 伊勢講の神祠(6組分が奉納)

3 オドド(神輿)

4 太鼓

5 鉦

6 かなづち

7 大根

手に持ちやすい長さや太さに切 り、先端をやや尖らせる

8 ヘグロ(鍋釜ススス)を付け た大根

8のようにメンドンが持ち、参 加者や見学者の顔にヘグロを なすりつける。腰に付けたビ ニール袋に入れる



お椀に山盛り一杯の白飯を盛 る。オドドの下をくぐった人たち に箸を使っておすそ分けをする 10 お神酒











メンドンは、利永神社での神事 後、伊勢講の祠をオドドに乗せ て集落内を巡り回る。













旗持ち 太鼓持ち 鉦持ち オドド持ち お神酒持ち















### どこに行けば会えるの?

◎本 番:メンドン(1月第3日曜日)

◎場 所:利永区内 ◎祭 事:利永神社







十五夜綱引きは、旧暦8月15日に鹿児島の各地で行われていた。 大山区の十五夜行事の始まりは定かではないが、昭和50年、17年ぶりに復活し、 それ以来毎年開催され、相撲大会と綱引きが1年ごとに交互に行われている。



直径20センチ以上、長さが数十メートルにも及ぶ大綱をかく作業は見ごたえがあります。 大山老友会と大山消防分団を中心に、皆で力を込め、息を合わせて一気に練り上げます。 昔は旧暦8月1日から、数え年の 15歳になるニセの子どもたちが、 **情報** 子ども組(数え年7~14歳くらい) を率いて、カヤやカンネンカズラ取

りに山へ入り、十五夜の準備を行っていたという。 現在は子ども会で、綱かきの手伝いや、参加者へ 配るお茶や昼食の準備を行っている。





# ステップ

### だれが守り伝えているの?



写真は、カンネンカズラ取りを行う集落長と大山郷土研究会の皆さん。この他、小中学校PTA、子ども会、大山老友会、大山消防分団、大山婦人会等、多くの団体が行事に携わっている。

### ステップ

### 必要な道具は?





[カンネンカズラ] 山から切り出したばかりのカンネンカズラ。

[カヤ]

地域の皆さんが持ち寄ったカヤ。 行事の前には大山神社の敷地内 にあるフェンスに、たくさんのカヤ がかけられる。



### ステップ

### 準備風景を見てみよう



本番の1週間前、集落長や大山郷 土研究会を中心としたメンバーが集ま り、地区内の山へカンネンカズラを取 りに出かける。最近では取れる場所が 少なくなっているため、事前にしっかり と作戦会議をした後、2班に別れ、太く 丈夫なカンネンカズラを探す。









本番前日、会場となる大山神社の敷地内では、集落長と専門の業者によって、綱をかける大きなやぐらが組まれる。右写真は、完成したやぐらに綱がかけられている様子。

# ステップ

### いよいよ始まるよ~

十五夜の行事に合わせて、集落長が 集まり、大山神社で豊年祭を行う。こ の年は台風被害で大山神社境内が使 用できなかったため、桜井神社で行わ れた。







子ども達は大人の指導を受けながら、大綱のもとになる細い綱「カナ」を 1本1本作り上げていく。材料は、区 民が持ち寄ったカヤとワラ。





カンネンカズラの芯にカナを巻きつけ、大綱を練り上げていく。

午後4時、子どもや保護者約50~60 名が、出来上がった綱を引いて地区 内を練り歩く。(西村~平原~迫~春 ~笛上~上出)





午後6時、大山神社境内に戻り、約100名が参加し綱引きがスタート! 1時間に亘り、男性 対 女性、上集落(上出、西村、平原) 対 下集落(迫、春、田上)などの熱戦が繰り広げられる。地区の運動会で行われたこともある。



# 成川南方神社神舞

成川神舞保存会



3年に一度の歴史と伝統ある行事 神舞「カンメ」





神舞は、小さい子どもたちか ら、親、祖父母世代まで多くの舞 手と関係者が協力して行われま す。さまざまな種類の面や色鮮や かな衣装をまとった躍動感あふ れる舞が披露されると、観客から は大きな歓声が上がります。



神舞は、お諏訪様と呼ばれる諏訪大明 神(現:南方神社)に伝わる神事の一つと して、3年に1度、10月に2日間、多くの地 区住民の協力のもと行われている。

いつごろから行われてきたかは詳しい記 録が残っていないため不明だが、舞い方や楽は口伝 によって伝わってきた。

ただ、江戸時代に諏訪大明神の社家で大祝子(今 でいう宮司)であった有馬家の系図には、慶安2年 (1649)に京都の吉田家から神道裁可状を受けた有 村純定が、この頃に諏訪社頭において藩主島津光久 の前で神舞を舞ったと記されている。現在の神舞は、 その流れの中にあるものとされていることから、江戸 時代の前半には存在していたと思われ、360年以上 の歴史を持つといわれている。

かつて、神舞は33番あったが、現在は14番の神舞 が舞われる。なお、内侍舞(ネイメ)とキンネンタマは、 本来の神舞の番数には数えないが、神舞の数が少な くなったことから神舞の舞として舞われている。





かつて、成川神舞は誰でも舞うことはできず、一社伝来と して門外不出のものであった。昭和35年頃まで断続的に行 われていたが、その後しばらく途絶え、昭和46年に、現在の 代表國吉さんら成川青年会の「成川のために何かしたい」と

いう思いと努力で復活した。

「今では舞い手になることは、若者にとって憧れ。どんどん次の担 い手が出てきてくれることが嬉しい。」と誇らしげに語る國吉さん。

保存会会長 國吉 幸美さん

### ステップ 1

### だれが守り伝えているの?

成川神舞保存会



成川区に住む、さまざまな年代の男女からなる保存会。楽15人(笛9人、太鼓6人)、舞手41人と、そのメンバーを支える多くの関係者で活動している。

## ネテップ 練習風景を見てみよう







練習は、本番の約2ヵ月前から成川区民センターで行われる。最初は、舞手と楽それぞれで練習を重ね、約1ヵ月前には楽合せといって、舞と楽を合わせた練習が始まる。神舞は3年に1度しか行われないため、経験者であっても、2ヵ月間集中して練習し、舞を身につける。また、後輩への指導にも力を入れている。

### <sup>(ステップ</sup>) 準

### 準備風景を見てみよう









本番前日、神事を行った後、大きなデフ松を切り出し会場へ運ぶ。

神舞斎場は、畳を敷き詰め前庭とし、周囲に注連縄を巡らす。北方にデフ松(大奉松)と呼ばれる松を立て、デフ松の下に御輿を置いて神座とし、松、ユスノキ等の緑樹を植え込んでヤマを作る。デフ松の向かい側南方に赤い鳥居を立て、舞手の入口とし、鳥居から控室まで花道でつなぐ。

## ステップ

### いよいよ始まるよ~

### 1日目

### 【神社での発輿祭】





南方神社での発輿祭を行い、境内で「メダシ(舞い出し)」として、内侍舞(ネイメ)、キンネンタマ、長刀、ミッキジンの四つが舞われ、御輿が神社を出発する。御輿を担ぐのは、厄年の男性となっている。

### 【つゆはらい衣装・グレ回りの様子】



### 【つゆはらい】

- 1 羽織
- 2 半着
- 3 **笠**
- 4 帯
- 5 腰紐
- 6 定袋
- 7 ズボン
- 8 草履
- 9 3
- 10 矢



グレ回りの先頭は「つゆはらい」が務める。











「グレ」とは、歳いと祈願の神事であり、事前に申込のあった氏子区域の家や施設を2日間に分けて 回る。祓いを必要とする新築の家の他、家内安全や商売繁盛、無病息災を願いたいという氏子のさま ざまな理由で行われている。訪れた家の中では、御輿を前に神主が祭詞の奏上を始めると同時に女 の子がネイメを舞い、家の外では、男の子2人がキンネンタマ、次に男性1人の長刀、そして4人の鬼 人によってミッキジンが舞われる。その後、神主は、家人や家の中、玄関等を祓い清める。

### 2日目

### 【神舞奉納前の儀式】









2日目の「グレ回り」の後、神舞斎場へ到着するのは夕方。ここで、「メコン (舞い込み)]として「メダシ」と同じ四つの舞が行われ、「グレ」が終了する。

《神舞奉納までの流れ》

祓い【修祓】

神降ろし【降神の儀】・・・天神地祓八百万の神々を八張に歓請し、デフ松を依代とする。

幣帛(ミテグラ)上げ【献饌の儀】・・・成川の産物が神々に捧げられる。

祈願詞奏上・・・斎主が祈願と感謝の祝詞を奏上する。

玉串奉奠

区長祭文・・・成川区長による祭文奏上。神舞の始まりを告げる。

### 【神舞で使用する楽・楽の衣装】



- 1 白衣
- 2 狩衣
- 3 白袴
- 4 鳥帽子
- 5 定袋
- 6 草履
- 7 腰紐
- 8 R





10 ブチ

11 笛



舞および神事には、笛や太鼓で奏する楽が あり、南方神社の楽は、伶人により伝承され てきた。楽に使用されるのは、太鼓(一般的な 宮太鼓)と笛(手作りの6穴の横笛)で、現在伝 えられているのは以下のとおり。

出昇(デジョウ)、ドッヂュス、鬼神の楽、田 ノ神、鈿女(ウヅメ、サカメン)、踏剣(フンツ ルッ)、大剣、扇拍子(オッピョス)、鹿の子走り (カノコバシイ)、幣立、フッキイ。

### 【神舞奉納】~14の舞と衣装・道具~









- 1 冠
- 2 頭巾
- 3 紐
- 4 白衣
- 5 狩衣



6 緋袴

9 定袋

10 神楽鈴

7 腰紐(白)

8 腰紐(赤)

7歳前後の女の子1人が鈴を持ち、左右に回って舞う。地元では舞を「ネイメ」、舞手を「ネイノコ」と いっている。古い神社明細帳にも「内侍舞」と記されている。



【2. キンネンタマ】





1 毛頭 7腰紐

8 定袋 2 鉢巻

3 たすき 9 草履 4 紙垂 10 ブチ

5 浴衣 11 刀

6 たっつけ袴 「裁付け」のこと







7歳前後の男の子2人が、剣と棒を持って舞う。舞の意味は不明だが、語感が動物の狐を連想させ ることから、「きつね玉」や「狐玉」と表記されたことがある。1人は剣を、1人は棒を持ち、右手を回し突 き出して、左右に回って舞う。最後は剣を持った男の子が残り、飛びながら左右に切り祓う。



【3. 祝子舞 (ホイメ)】









- 2 白衣
- 4 白袴
- 5 御幣
- 6 扇子
- 7 鈴(手錫杖)
- 8 腰紐
- 9 定袋

4人が狩衣と烏帽子姿で、鈴と扇を持って舞う。本来は、諏訪社に奉仕する「祝子部(ホイ)」が舞う ものであったことから、表記については「祝子舞」が正式である。誤用の「奉仕舞」から「ホイメ」と呼ば れている。

### [祭文]

ドツヂユス

大皷○ 今月のよき日選いて、供へたい、七重の供へ神きこしめし七重の供へ神聞召しめしや

大皷◎ 千早振るここは高天原なれば、集ひたまへ、四方の神々

○ ヤー、宵のまにはやの風こそ、やんかのや一吹き来たり、神風ならばヤー、しなやかに。

舞になる楽扇柏子。一回背負って、一往復ですわる。

祭文◎ 今月のよき日を、(以下大皷と同じ)

大皷◎ ゆるむとも、よもやのきしの、かなめんし、鹿島の神も、やし、あらんかぎり

○ たてやなぎ、とこたちたまへ、たてばこと姿もよけれ、舞はしようらん

舞になる 鹿子走り、鈴を置き扇舞になったら、楽はドツヂユス

給を持って楽、田之神にて一回、往復して終わり













11 御弊

3 浴衣

4 たっつけ袴

5 たすき

6 紙垂

7 腰紐

8 鈴(手錫杖)

9 定袋

舞手は笠をかぶり、田ノ神の面を付けて右手に鈴、左手に御幣、腰にめしげを刺して舞う。ユーモラ スなしぐさが観衆を笑わせる。

### [祭文]

### (1)祭文楽 田之神

春田うつ、夏早苗取る朝より、秋の夕を守る御田之神夫神代に 十萬丁の御田あり、保食の神の作り初めし御田なり、この田の 一つの水口より、湯末の末の末までも、守りなされる御田之神、 されば其の十万丁の米なれば、其の穂の長さが一尺八寸、ブラ ブラブラ ブラ・・・・・

此の穂の米なれば、粒の太さが一寸八分、コロ、コロ・・・・・ 此の米を飯にかしげば、青人草の命をつぐ、酒に造れば、いず みと湧きて、不老不死の薬となる、餅につけば祝の「かちし」と なる、是をふくめし青人草夏の日にも暑からず、冬の夜も寒か らず、此の田之神の皮膚の如く、赤ら、赤らと色もよし、我を 知らすか青人草、十万丁を始めとして、一丁田の水口までも、 ゆわくれて、耕す春の朝より納むる秋の夕までと、守る神なれ ば、今日の大神楽を、しりくめなわを引まわし、大奉の柱を立 て、宮殿を飾り天照大神を始めとし、日本国中三千餘座、天神、

地祇、八百万神を請じ奉り、宵も過ぎ夜半も過ぎる頃までも御 田之神を請ぜんは、国土の人の命をつぐ、田地のもとをわすれ たか、それは兎もあれ角もあれ、天照大神の動を受け、御田を 守る我なれば、五穀豊穣の舞を舞おうよ、神楽男あらば喜びの 神楽を離せ舞を舞おうよ。

又此飯がいは、如何なるものかと思ふらん、子孫繁昌子安の木 を、一尺二寸にたいどって(体取)中を凹めて、作ったり、又此の かがみは俺が搾って屈だところを、ひようしてうつ、とこに多か ように、斯うもり、斯う盛り、こうもりとあるは、十七八の女性達 の、こうもり、こうもりとあるを、ひようしてうつかように候。 又此の飯がいのいいのに盛ったるものを、喰ふによってこそ、 わかいの薬ともなるは(を)しらんか、われ又若い気色で舞を舞 おうよ。



### 【5. 踏剣 (フンツルッ)】

男の子3人の舞。両側の男の子が剣と鈴 を持ち、真ん中の男の子が長細い棒2本と 鈴を持つ。真ん中の男の子と遊んであげ る様子を示したものとされる。真ん中の男 の子が祓いの所作をし、2人が互いの剣を 握って揺らして回る。そして踏剣の名の通 り、真ん中の男の子が2人の置いた剣を踏 んで舞う。











1 半襦袢

7 腰紐 8 足袋 2 鉢巻

10 ブチ

3 毛頭 4 浴衣

5 たっつけ袴 11 刀

6 たすき















千早に緋袴の少女が、左手に御幣、右手に鈴を持ち 左右に舞う。明治期には男性が女面を付けて舞った記 録がある。



3 紐

4 頭巾

5 白衣

6 千早 7 緋袴

8 腰紐

9 定袋

10 神楽鈴

11 御幣

### [祭文]

(出端の神歌)入場し、舞う位置に来て、両手を下げたまま歌う。 青和幣 を草の枝に折りかざし 歌へば開くの岩かど

なにならほうぎ 何々法者の声として 小神子を召され候は 何の仔細によって召され候ぞや 何々 岩戸を折れとやな 再拝再拝敬白

ここに高御産巣日命の御子思兼命と申す神おもんばかりの悟り有りて亡さく かの神のみかたを顕し 造り奉りておき奉らんと すなわち石ごそえを以て工となし また。 大の香具山の金を以ちて日矛を造らん

また まなかの皮をうつはぎにはぎ 天のはぶきを作り招き祈り給へども まだ神明の御納受も見へ給はず候間 重山を召し祈らばやと存候



### 【7. 地割(ジワイ)】



2 白衣

4 白袴

6 腰紐

7 定袋

5 たすき

93

11 鈴

10 矢(3本)

(手錫杖)





[祭文]





狩衣と烏帽子姿の4人が左手に弓、右手に鈴、腰に矢を差し て登場し、ゆっくりとした楽に合わせて舞い清める。途中で鈴 を置き、弓と矢を持って舞う。

### 1. 夫れよろいとは、一ぱ昔は三角一面のものにてありし うことなし、されどここにてかしこき納むるをしじゆう とき、神宮皇后異国退治のおん年八月の腹にてありし とき御身によろいたらんによって、わきたてと云ふこと をし添へ、今は四角上等の御よろいとは申すなり。

- ②はつはるの、よき日に真足の、ちりとりて、今こそきみ に、きせながのいと。
- 3. ◎夫れ神代にありし天のははゃと申奉るは、天のひほ うなり、弓はきうなり、矢は直なり、きうちよくのさいを もって人にさずけ、軍切にたいして相戦ふ時は、三たび その名を呼ばわってゐるときは、一つとして当らずと云
- となり、又あめはかしこ、荒振る神に向ふ時、給はいし 弓ははつこうの弓なり、されどかのひほうの弓をもって 地を割矢をさすときは、五方より入り来る 災難を払ひ しりぞき、すなはちしんめいおろごうの霊地となること うたがいなし
- ◎ 梓弓造り下ろして、つるかけて 長く宝と祝いそめけん
- ◎ 梓弓、造り下ろして、つるかけて 我が氏人の、悪魔払は
- ◎ たちもそでの進風になびかん神はよに、あらあじもの











2 裃 11 蜂の巣

3 面袴

4 腰紐

5 面用帯

6 定袋

7 面

8 面用毛頭

9 ぶち

舞手は、赤・青・白・黄の鬼神面を付けた4 人。同色の毛頭をかぶり、日の丸の扇子を持 つ。順番に鬼神が現れて舞い、祭文の神歌 を言った後、舞って四隅に控える。次に全員 が争うような舞をし、黄鬼神だけが残り祭文

を述べて舞い清める。 グレ回りでも行うが、その際には「ミッキジン」と呼び、やや早い動 きで舞う。また、「メダシ(舞い出し)」や「メコン(舞い込み)」の際にも ゆっくりとした動きで舞う。

### [祭文]

- 神々の、天の逆鉾振る時は 乱れし鬼もかなはざりけり(ん)
- 日之本の国のおこりを尋ぬるに 鉾のしづくや、葦原の里
- 谷は八つ嶺は九つ、塔は一つ 鬼の住家は、あららぎの里
- 天之戸を、押開けかたの、雲間より(い) 神代の月の、かげすのこえ

◎かぜせいと、年あらたまって、山うごかず、かすがの山はせいある山か、せいなくば、山守りすえて、我か山にせん









### 【9. 長刀 (ナンナタ)】





- 1 毛頭 5 たすき
  - 6 紙垂
- 2 鉢巻 3 浴衣 7腰紐
- 4 たっつけ袴 8 定袋





舞手はゆっくりとした楽に合わせて白い布を持って舞う。(「オンメ」、帯舞のことだと推測される) 舞の途中でタスキの輪を作り、体を後転させて返り、起き上がったときにタスキをかけた状態になる。 タスキをかけたら背中にナカトイの紙垂を付け、長刀を持ちながら、時にはゆっくり、時には激しく舞 う。前半は静かな舞、後半は激しい舞となる。

10 懐紙

11 長刀

この舞の一部を取り入れた短い舞が、「昼のナンナタ」で、グレ回り、「メダシ(舞い出し)」、「メコン (舞い込み) |の際に舞っている。













2 白衣

8 扇子

10 御幣台

3 狩衣 9 御幣

4 白袴

5 腰紐

6 定袋





狩衣に烏帽子姿で御幣と扇子を持ち、体と手を小刻みに振るわせながら回り、御幣を座敷の中央 に立てて退場となる。

[祭文]



### 【11. 五方鬼神(ゴホウ)】







3 面袴 4 腰紐

5 面用帯 6 足袋

7 面

8 面用毛頭 12 弓

9 扇子

10 御幣 黒 11 御幣台

13 矢 14 刀



青赤 [面·道具]

黄「面·道具)

道具が異なる。

衣装は黒と同じで面と

15 たすき

青・赤・白・黒・黄の鬼神面をつけた五鬼神が次々に現れて舞い、祭 文の神歌を述べる。それぞれ自己名称を述べた後、五鬼神が同時に 舞い、御幣を奪い合う。最後に鬼神(黒)が幣を取り、舞い納める。

・青:東方を表す、扇子を持つ

・赤:南方を表す、扇子を持つ ・黒:北方を表す、扇子を持つ

・白:西方を表す、弓と矢を持つ ・黄:中方を表す、刀を持つ

### [祭文]

青 東方 谷は八つ、嶺は九つ、塔は一つ 鬼の住家は、あららぎの里

南方 日之本の、国のおこりを尋ぬるに 鉾のしづくや、葦原の里

西方 梓弓、造り下ろして、つるかけて 我氏人の、悪魔払らわん

北方 天之戸を、押開け方の雲間より 神代の月のかげすのこえ

黄 中方 出雲路や、八雲叢雲、たづくわせて 振らずの剣、罪は切りけん (自己名称)

白体金神重宝 金山彦乃命 謹請西方

かくつちのみこと 火具土乃命

黒 謹請北方 黒体水神重宝 水波乃売乃命 黄 謹請中方 黄体土神重宝 大地主乃命







9 鈴(手錫杖)

10 懐紙

11 刀(2本)

1 毛頭

2 鉢巻

3 浴衣

5 たすき

8 定袋



4 たっつけ袴

6 紙垂

7腰紐







長刀の舞と同じように「オンメ」を舞いタスキをかけたら、2本の剣を持って勇壮に舞う。刀を垂直に 立てたり、正眼に構えたり、振り回したりする所作を繰り返す。

舞の途中で、たすきを結び輪を作る。それを後ろ回りをしながら、たすきがけを完成させるのも見ど ころのひとつ。



【13. 猿女舞(サカメン)】









- 1 白衣
- 2 狩衣(赤)
- 3 面袴
- 4 腰紐
- 5 定袋
- 6 面
- 7 面用毛頭
- 8 面用帯
- 9 三段鈴(手錫杖)
- 10 扇子

岩戸にこもった天照大神を出現させるため、おもしろおかしく舞ったという天宇受売命(あめのう ずめのみこと)の舞を表している。左手に扇子を持ち、右手で鈴を振りながら舞う。滑稽な舞ではない が、酔ったような歩きが特徴で、神々が笑い転げたという状況を想像させる。

### [祭文]

あめのうづめること トリのほうさの声として、天宇津命是れまで請じ給ふ、天照大神天の岩戸にましますにより、岩戸前を一さし御らん候へ。 がんじょう くにっ たち かんじょう 柳天地十二代勧請し奉る故、如何となれば国津の神等心猛きによって、天照大神天の岩戸に籠り給ふこと己に六百三十 年が間なり、八百万の神々集り給ひて、七日七夜舞神楽をし給ひし時、榊葉を根ごしにして、岩戸の前に立て給ふ、第一の 枝に水晶の玉を掛け、第二の枝に天の香山の土を取って、鐘を鋳奉る、一番の鐘を紀伊の国日神宮と崇め奉る、二番の鐘 を懸け奉るなり、第三の枝に五色の幣帛を附け奉ること、天照大神も影向はし奉るところなり、不慶が浦に講じ、子丑末辰 とつかのけん 戊掛けて立て給ふ。是悪魔降伏す、十堀剣は諸毒七難の厄を払ひ、内侍所の八咫の鐘は、己に心八葉の神殿を開く、萬法 間備の神霊の玉は、栄耀栄華の邪性に触れず、七五三の住連郷、五治散身の極萬を飾る。

宝珠のしくのを援く、どうどうとなる大皷の響には五水三根津の齢をさます、大祝詞ごとのまいまいとして、くじやくをふむ は声々に、笛はかりうびんの声となし、颯颯の鈴の声には、生死、長夜の眠を醒ます、さればかの鈴の文に曰く 以我行神力神道、加持力神変神通力奉供養に住す、されば此の文を唱へ奉れば、日本六十余州の大小の 神祗の殊に、天照大神も御納受と見え候ほどに、此の所に宮人のましまさば、秘極の神楽を始め候らへ。





### 【14. 十二人剣 (ウツルッ)】



- 1 丰頭
- 9 鈴(手錫杖) 2 鉢巻

8 紙華

10 刀

- 3 白衣
- 4 白袴 5 腰紐
- 6 定袋
- 7 たすき





12人の舞手が剣と鈴を持って楽に合わせて入場し、ゆっくり1列で円をつくって舞い、最初は神前 に向かって2列横隊になって舞う。その後また円をつくり東、西、南と同じようにし、中央では円陣のま ま横隊になったときの所作で舞う。ここで剣だけの舞になる。お互いが剣を持ち、円陣のまま振り上 げたり振り下げたりして左側に移動し、途中で剣くぐりの舞をする。

### 【神舞奉納後の儀式】





【大祓】十二人剣が終わると、舞手の円陣の中に観衆が入る。大祓詞が奏上される間、12人が剣を前に立てて回り、神主によって祓いが行われる。





斎場の周囲の紙垂が、人々に配られる。

【撤饌】

【昇神】神々にお帰りいただく儀式。昇神の儀が終わると御輿は神社に帰る。





【神社での還幸祭】南方神社の神々が神社に帰ってきた祭り。少人数で夜間ひっそりと行われる。この 還幸祭をもって2日間の長い神事が終わる。

### 【その他神舞で使用する道具など】





デフ松に下げる八張(ヤハリあるいはヤツハリ)

祭文表示板





地域の方々の手作りの昼食







反省会のようす

保存会のはっぴ

保存会ののぼり



◎本 番:10月27日・28日に近い土曜日・日曜日

(土曜日)

8:30~18:30頃 グレ回り1日目

(成川区一円、その他の地区)

(日曜日)

8:30~16:30頃 グレ回り2日目

(成川区一円、その他の地区)

17:30~ 神事(成川保育園 前庭)

18:00~22:30頃 神舞奉納(成川保育園 前庭)



# 政治

幕末、指宿郷や頴娃郷 では歴代薩摩藩主により 殖産振興や街道整備等が 行われた。これら薩摩藩の 近代化を支えた石橋や堀 切は、現在もその町並みや 水田を見守っている。

### 湊川橋 西方宮ヶ浜



湊川橋は、江戸時代に造られた 石橋。石を丁寧に加工し、それを アーチ状に組み合わせている。第 27代薩摩藩主島津斉興の家老で あった、調所笑左衛門広郷が、肥後 の石工、岩永三五郎を招いて完成 させたものだという。

欄干が老朽化のため崩れていた が、平成14年に修理され、現在の 姿となった。

### 松尾城跡

西方6830 市指定



松尾城は、室町時代から江戸時 代初期までの400年間、指宿の政 治の中心を担っていた城。自然地 形を巧みに利用し、それに手を加え ながら空堀や土塁を築いて防御を 固めている。山城であり、かつ錦江 湾に面した海城でもある点が特徴 だ。最初にこの城を根拠地としたの は、指宿氏の第4代指宿五郎忠村。 長い間戦乱の舞台となり、後に伴 姓頴娃氏の城として整備され、一 国一城令で廃城となった。

## 菅山の方柱板碑(仮屋) 池田4391 市指定

菅山の方柱板碑は、天文18年 (1549)に建立された。碑の正面に 直径5cmの「○ I (円相:えんそう)が 彫られ、その中に「心」の字が刻ま れている。この「○」は禅宗で悟り のシンボルとして描かれるもので、 心が完全に満たされていることを 表している。板碑には、法華経の経 典の文字が尊いこと、経典の文字 69、300字を一文字ごとに1つの 石に書き写したことが刻まれてい

## 方柱四方梵字



十二町中小路の金毘羅神社の 鳥居の脇にある板碑の側面には、4 人の仏の名前が太い梵字で刻まれ ている。供養塔の一種であろう。東 面:摩利支天 身体を守り戦いに勝 つための仏。西面:阿弥陀如来 極 楽浄土に導く仏。南面:阿閃如来 元気のない人をはげます仏。北面: 勢至菩薩 知恵を授けてくれる仏。 また、この金毘羅神社は、中世の山 城「原田城」の推定地の一部でもあ

### 木造聖観音立像三体 西方久保 市指定



西方久保にある木造聖観音立像 三体は、廃仏毀釈の際、地元の青 年たちが隠し守ったもの。それぞれ 造られた時期が異なり、右端のも のは、平安時代後半に造られた作 品といわれ、南薩で最古とされる。 中央のものは、室町時代の作 品。

左端のものは、江戸時代の作品 と伝えられる。

### 鳥越堀切・決湖碑

開聞仙田1685-10他

市指定

①鳥越堀切 ②決湖碑





安政4年(1857)、島津斉彬は、指宿が水利に乏しく田んぼが少ないことか ら、池田湖の水を灌漑用水にあてることを考案した。池田湖の壁を掘削し開 聞の川尻まで新川を新たに造りそこに水を流す計画だ。こうして鳥越掘削工 事は始まったが、翌年の斉彬の死と明治維新により丁事中断。その後、明治5 年に県令大山綱良がこの工事を再開。莫大な工事費と作業員11万人余りを 費やし、明治9年に完成させた。この工事によって池田湖は初めて流出し、河 川と繋がった。また、水位が約3m低下し、池崎付近が陸地になり「ひよりのた んぼ と称され、また近くには田の神様が祀られている。決湖碑には、池田湖 の工事の経緯が詳しく刻まれている。

末法思想が広がった中 世、生存中に作られた板 礼や写経など当時の信仰 心の深さが刻まれている。 仏像をはじめこれら石造物 は、現在においても地域の 人々によって祈りが捧げら

### 長勝院址石造物(快伝銘五輪塔・方柱板碑・石造如来形坐像) 西方宮ヶ浜4764他

- ①快伝銘五輪塔
- ②方柱板碑
- ③石造如来形坐像



宮ヶ浜には、「長勝院」 (ちょうしょういん)という 寺に関連する五輪塔と板碑 が残っている。五輪塔のあ る周辺には元々、長"松"院と

いう名前の寺があったが、慶長14年(1609年)、琉球出兵の 際に、島津義弘が息子・家久の戦いの勝利を祈って、長"勝" 院に名前を変えたと伝えられている。また、板碑は天文14年 (1545年)に造られたもので、法名祐貞が宮ヶ浜の民衆(農漁 民)に法華経信仰を広めたことなどが記されている。





162

### 吉永のモイヤマ



大きな木のある所には、神様が 宿ると信じられていて、そうした場 所をモイドン(森殿)とかモイヤマ (森山)と呼ぶ地域がある。

吉永のモイヤマはイチイガシが 神木。うっそうとしげるイチイガシ の木はどことなく神秘的だ。モイド ンには自然の神秘を大切に思い続 けた人々の願いや祈りがささげら れている。

# 供養

かつて、指宿は頴娃氏によって治められていた。 開聞地区には、頴娃氏が 拠点を置いた頴娃地区同 様、六地蔵塔をはじめ五輪 塔等が造られ、地域の祈り の拠点となっている。

### 松原田観音寺跡石塔群 開聞十町1188 市指定



開聞古事縁起によると、昔、この一帯に観音寺という寺が建てられていたという。昭和2年、公民館敷地を整地するときに、埋もれていた六地蔵塔や五輪地蔵塔、板碑等の供養塔を掘り出して保存。昭和59年、公民館の改築に伴って現在地に移設し、種類ごとにまとめて安置した。大永2年(1522)8月と記されている六地蔵塔は、この地方で最も古いものである。

### 入野原石塔群



この石塔群は、石塔の造り方や 形などから室町時代ごろのものと 推定されているが、どれも無銘で 誰のものかわかっていない。開聞 宮由緒古跡糺方帳には、瑞応門より2kmほど西、入野原に小四郎の 塚があると記されている。小四郎は、頴娃家の相続争いで兄九郎と 瑞応院の住職であった頼宗を殺し、第7代の頴娃城主となった人物。ただ、現在残っている石塔群が、小四郎や頴娃氏に関係するものかどうかは不明である。



他田瓦ヶ尾一帯は、昔、他田村東 屋敷と呼ばれていた。ここには、こ の地に住んでいた六兵衛(戒名は 月秋浄井上座)が建立したと言われ る六地蔵塔1基、五輪塔15基、板碑 6基、その他多数の供養塔の残欠 が残っている。元和8年(1622)に 建立された六地蔵塔には、六兵衛 が、この世の幸福と極楽に往生す ることを願って、伊勢神宮や熊野権 現にお参りしたこと、33カ所を巡礼 したことなどが刻まれている。

# 賑わい

中世から近世・近代と指宿の政治・経済・流通の拠点となった宮ヶ浜。谷山街道筋をはさんだ両脇には、国登録有形文化財の建造物が残され、当時の賑わいの一端を垣間見ることができる。

### 宮ヶ浜商家群

(中俣家住宅主屋・坂本家住宅主屋・蜷川菓子店店舗兼主屋・ 丸十金物百貨店店舗・丸十金物百貨店蔵)

西方4674他

一部国登録



宮ヶ浜の国道226号沿いには、明治時代から大正時代にかけて建てられた風格漂う商家群がある。漆喰塗りの壁や段状になった屋根の造りが特徴的で、当時の姿をよく留めている。これらの建物のうち、「丸十金物百貨店店舗」、「丸十金物百貨店蔵」、「中俣家住宅主屋」、「坂本家住宅主屋」、「蜷川菓子店店舗兼主屋」の5軒は国の登録有形文化財に登録されている。

### 水迫遺跡



水迫遺跡は指宿市のほぼ中央、標高126mの尾根上にある。水迫遺跡では、約1万5千年前の石器とともに、竪穴建物跡や炉跡、石器を作った作業場や道の跡などが発見されている。約1万5千年前の生活痕跡がこれほどまとまって見つかった例は日本でも初めて。水迫遺跡は、遊動生活から定住生活へと移り変わる時期の「集落のさきがけ」と評価され大きな注目を浴びた。現在遺跡は埋め戻され現地で保存されている。

### 戦

第二次世界大戦中、指宿市は薩摩半島最南端という立地状況から、多くの軍関連施設が造られた。昭和20年(1945)の終戦から70年以上の歴史を積み重ねながら、現在の私たちに戦争の歴史を語り継いでいる。

### 震洋の滑走台 東方尾掛 未指定



第二次世界大戦中、指宿には二つの震洋隊が置かれた。一つは山川長崎鼻の第53震洋隊、もう一つは指宿田良の第106震洋隊である。震洋は全長5~6mのベニヤ板製モーターボート。爆薬を積んで敵に突っ込む特攻兵器だ。魚見漁港近くの海岸には、震洋を海に運び出すコンクリートの滑走台が残っている。滑走台の陸地側には、震洋を保管する豪が掘られており、その一部が現在も残されている。

1164

16

国指定

# 指宿海軍航空基地跡,魚見岳旧海軍貯水場 東方田良

戦時中、田良には指宿海軍航空基地が 置かれ、終戦間際にはアメリカ軍による度 重なる激しい空襲を受けている。当時の 目撃者は「田良航空基地が爆撃を投下さ れた瞬間は、飛行場の上空に巨大なドウ ナツ型の大黒煙が舞い上がり、地上は砂 塵で覆われ火災が発生して兵舎等の施設 は全焼した。」と語っている。相次ぐ空襲 と悪天候のなか昼夜を問わぬ哨戒索敵行 によって百有余人の基地隊員の尊い命が 失われた。また、鰻池から指宿市街地を通 り、魚見岳中腹まで水路を引いた、深さ2 メートル以上の貯水場ものこっている。

### 魚見岳麓防空壕 東方田良



魚見岳の東崖面と南崖面には防空 壕が掘られ、現在までに16ヶ所確認 されている。その防空壕の奥行きで 長いものは、52m、42m、24mのも のがある。防空壕のコンクリートの壁 面には、工事で用いられた板の木目 がくっきりと残されている。また、崖 面以外の平坦地には、コンクリートを 用いた防空壕が造られ、その内のひ とつは、残存し当時の硬固な造りを 今に伝えている。現在、戦没者の慰 霊碑が建立され、毎年5月27日(旧海 軍記念日)に慰霊祭が行われている。

### 田良岬の戦闘機残骸 東方田良



第二次大戦中、指宿の多良浜に は海軍航空基地が置かれていた。 知林ヶ島と本土をつなぐ砂州には、 戦闘機の一部の残骸が埋まってお り、潮の干満によってその姿を現 す。基地内には、零式観測機一一 型、零式水上偵察機一一型、九四 式二号水上偵察機、二式飛行艇 一二型の飛行機が配置された。

## 摺ヶ浜の水際陣地 十二町摺ヶ洋

終戦間近、アメリカ軍は12月に 南九州に上陸するオリンピック作 戦を計画。それに対抗する手段とし て、摺ヶ浜にはアメリカ軍の上陸に 備えた、水際陣地が設けられた。

「火山銀座 | と呼ばれる ほど火山の多い指宿。開 聞岳の12回の噴火の中 で、西暦874年3月25日 の噴火では、指宿市内の 広い範囲に火山レキや火 山灰を積むらせ、当時のム ラを埋め尽くした。橋牟礼 川遺跡などの災害遺跡の 調査成果は、これから起こり うる災害の備えとなる。



もある二酸化ケイ素の含有量が比 較的少なく流動性が高いため、地 表に流れ出た際に、障害物がある とうねうねと曲がったりねじれた りして、ユニークな自然地形となっ た。県の天然記念物に指定されて いる。

### 指宿橋牟礼川遺跡

### 十二町橋牟礼2839番イ

- ①国指定史跡 指宿橋牟礼川遺跡史跡公園
- ②西暦874年3月25日の開聞岳の 火山灰で埋没した平安時代の畠
- ③西暦874年3月25日の火山灰で 倒壊した平地式建物
- ④ 古墳時代の竪穴住居群
- ⑤ 古墳時代の土器集中廃棄所











橋牟礼川遺跡は、十二町下里にある。大正7・8年に京都帝国大学教授の濱田耕作博士らの発掘によって、開聞岳の 火山灰をはさんで上から弥生土器、下から縄文土器が出土することが確認され、日本で初めて縄文土器が弥生土器より 古いことが証明された。この成果を受け、大正13年に国指定史跡に指定。その後の調査によって、貞観16年(874年)3 月25日の開聞岳の火山灰で埋まった平安時代の集落も発見され、国内でも貴重な火山災害遺跡として知られている。ま た、その下層からは、古墳時代の集落跡も発見され、その集落跡からは、竪穴住居をはじめ、土器集中廃棄所、貝塚など が確認されている。この国指定史跡指宿橋牟礼川遺跡の北側隣接地はに、指宿市考古博物館 時遊館COCCOはしむ れと、遺跡の模型と映像を紹介する歴史劇場が設置され、南九州の歴史、文化をわかりやすく紹介している。

指宿まるごと博物館 指宿文化遺産図鑑 第3巻 〜郷土芸能・伝統行事・有形文化財〜

平成 29 年 3 月

編 者 指宿まるごと博物館実行委員会

指宿市考古博物館 時遊館 COCCO はしむれ 〒 891-0403 鹿児島県指宿市十二町 2290 TEL 0993-23-5100 http://www.city.ibusuki.lg.jp/marugoto/

印刷・製本 渕上印刷株式会社

〒 891-0122 鹿児島県鹿児島市南栄 3-1-6

TEL 099-268-1002

落丁・乱丁はお取り替えします。 許可なく複製、転載することを禁じます。 ®指宿まるごと博物館実行委員会/時遊館 COCCO はしむれ

Printed in Japan



平成28年度文化庁文化芸術振興費補助金 (文化遺産を活かした地域活性化事業)